

**フリーター等の活用についての調査研究事業**  
**意識調査結果**  
**－企業向けアンケート結果－**  
**－従業者向けアンケート結果－**

平成 23 年 3 月

**(株)野村総合研究所**



# 目 次

## ○企業向けアンケート調査の結果概要

1.1 アンケート調査の背景と目的	1
1.2 アンケート調査の概要	1
1.3 単純集計結果	1
1) 回答企業の属性	
〈業種〉	2
〈設立年〉	2
〈資本金〉	3
〈売上高の傾向〉	3
〈従業者数〉	4
2) 雇用の状況	
〈直近1年間の正社員採用数〉	4
〈正社員の平均勤続年数〉	5
〈スキルの重要度と到達度〉	6
〈配属先〉	7
3) フリーターを正社員として雇用することへの意向	
〈正社員採用における優先順位の有無〉	8
〈正社員採用における優先順位〉	9
〈優先順位の理由①〉	10
〈優先順位の理由②〉	10
〈優先順位の理由③〉	11
4) 採用、登用に関する取り組み	
〈過去3年間の採用数〉	12
〈採用プロセスに占める割合〉	13
〈若年者雇用における課題〉	13
5) 正社員の定着に関する取り組み	
〈機会の有無〉	14
〈機会の重要度〉	15
〈元フリーターの満足度〉	16
〈元フリーターと新卒、中途(他社の正社員)との比較〉	17
〈離職の理由〉	18

## ○従業者向けアンケート調査の結果概要

1.1 アンケート調査の背景と目的	19
1.2 アンケート調査の概要	19
1.3 単純集計結果	19
1) 回答者の属性	
・ 性別	19
・ 年代	20
・ 未既婚	20
・ 都道府県	21
・ 地域	21
2) 質問項目と回答	
Q 1 正社員への意欲を持ったきっかけ	22
Q 2 正社員で働きたいと考えていない理由	22
Q 3 今後仕事を通じて実現したいことや就職・転職活動の方向性を明確に考えているか	23
Q 4 学生時代に行った活動とそれらの重要度	24
-1 最も時間を費やした活動	25
-2 2番目に時間を費やした活動	25
-3 3番目に時間を費やした活動	26
Q 5 フリーター時代に行った活動とそれらの重要度	27
-1 もっとも時間を費やした活動	28
-2 2番目に時間を費やした活動	28
-3 3番目に時間を費やした活動	29
Q 6 学生時代に得たこと・身についた能力	30
Q 7 フリーター時代に得たこと・身についた能力	31
Q 8 正社員を採用する際に何が求められていると思うか、求められているレベルに到達できていると思うか	32
Q 9 就職・転職活動で行った活動とその重要度	34
-1 最も時間を費やした活動	35
-2 2番目に時間を費やした活動	35
-3 3番目に時間を費やした活動	36
Q 10 正社員として採用された企業の区分	37
Q 11 フリーターとなった理由	37
Q 12 正社員として勤めた企業での機会の有無及び重要度	38
Q 13 フリーター時・正社員時のやりがいの比較	40
Q 14 正社員として勤めている企業で新卒時からずっと正社員として勤めてい	

る社員と能力差を感じるか	41
Q15 現在の仕事を今後も続けていきたいか	42
Q16 現在の仕事を続けていきたい理由	42
Q17 現在の仕事を続けたくない理由	43
Q18 最終学歴	43



## 企業向けアンケート調査の結果概要

### 1. 1 アンケート調査の背景と目的

若年者の雇用環境が悪化する中、今後の就職支援に関する施策立案の検討資料として、若年労働雇用者の雇用に関する実態を把握する。

### 1. 2 アンケート調査の概要

〈調査名〉 若年労働者の雇用状況に関する調査

〈調査期間〉 平成 23 年 1 月 14 日（金）～平成 23 年 1 月 28 日（金）

〈調査方法〉 郵送

〈調査対象〉 全国の中小企業 3,120 社

（東京商工リサーチ企業情報トップ 150 万社のうちアクティブ企業

（休眠状態の企業を除いたもの）から業種別（13 業種）・規模別に抽出

〈有効回答数〉 674 社（21.6%）

### 1. 3 単純集計結果

新たに正社員を雇用する際、本調査に回答した企業の約半数が「新卒」や「元フリーター」といった対象ごとに優先順位をつけていることが明らかとなった。優先順位の内訳をみると、「元フリーター」の優先順位は総じて低く、「新卒」の優先順位が高い結果となった。

その一方で、スキルに関して、「元フリーター」を採用した企業の満足度は低くなく、「不満がある」と回答した企業は 2 割に満たない結果となっている。また、「新卒」や「元正社員」とスキルを比較した場合にも、「どちらでもない」と回答した割合が過半数以上を占め、スキル面でも遜色がないことがうかがえる。

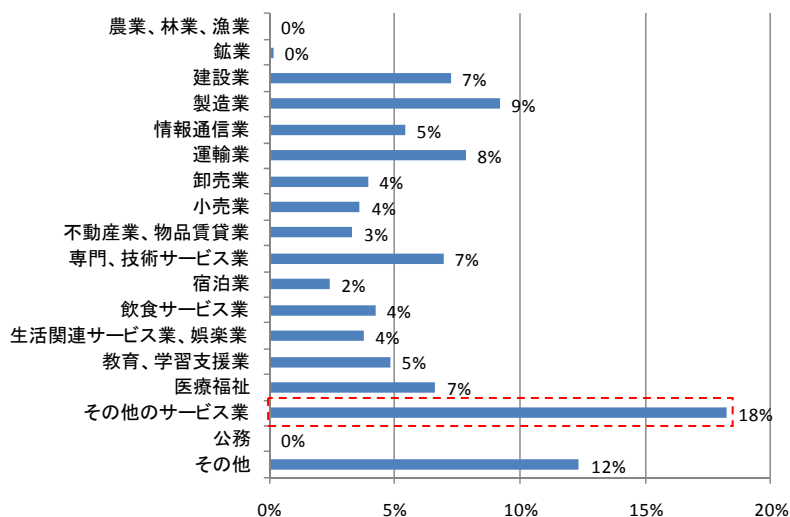
## 1) 回答企業の属性

### <業種>

- ・ 「その他のサービス業」が最も多く、18%となっている。

図表1 業種

問1：(1) 業種についてお教えてください。(〇はひとつだけ) (N=646)

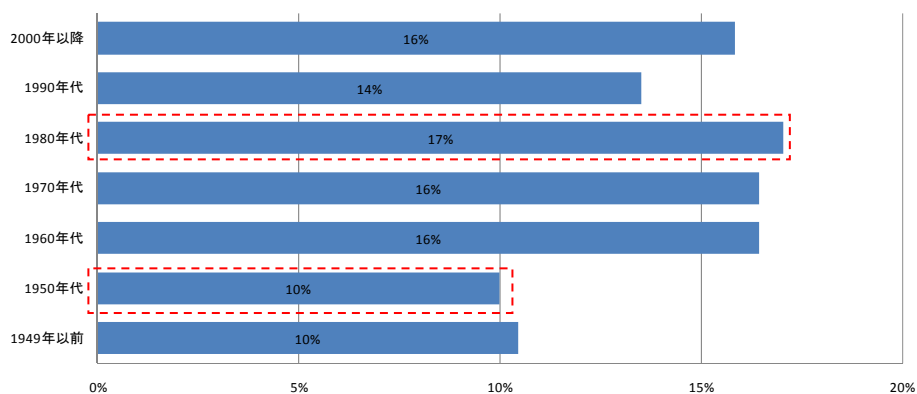


### <設立年>

- ・ 1980年代に設立された企業が最も多く、1950年代に設立された企業が最も少ない。

図表2 設立年

問1：(2) 貴社の設立年をお教えてください。(西暦でお答えください) (N=649)



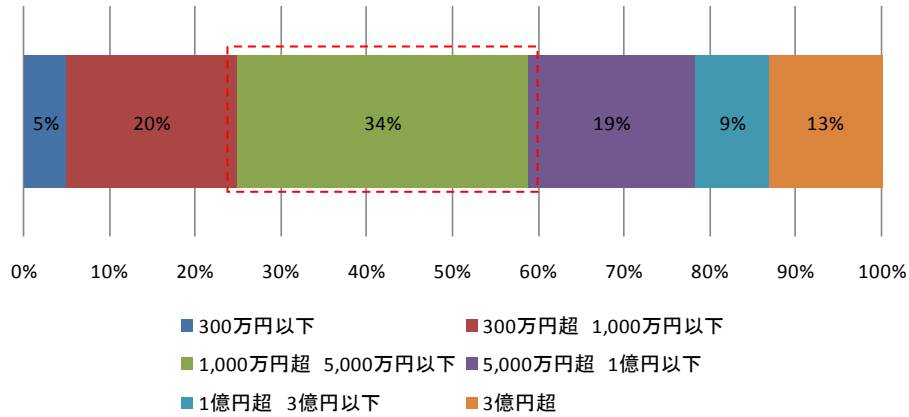


<資本金>

- ・ 資本金は、「1,000万円超～5,000万円以下」の企業が最も多い。

図表 3 資本金

問 1 : (3) 貴社の資本金をお教えてください。(〇はひとつだけ) (N=667)



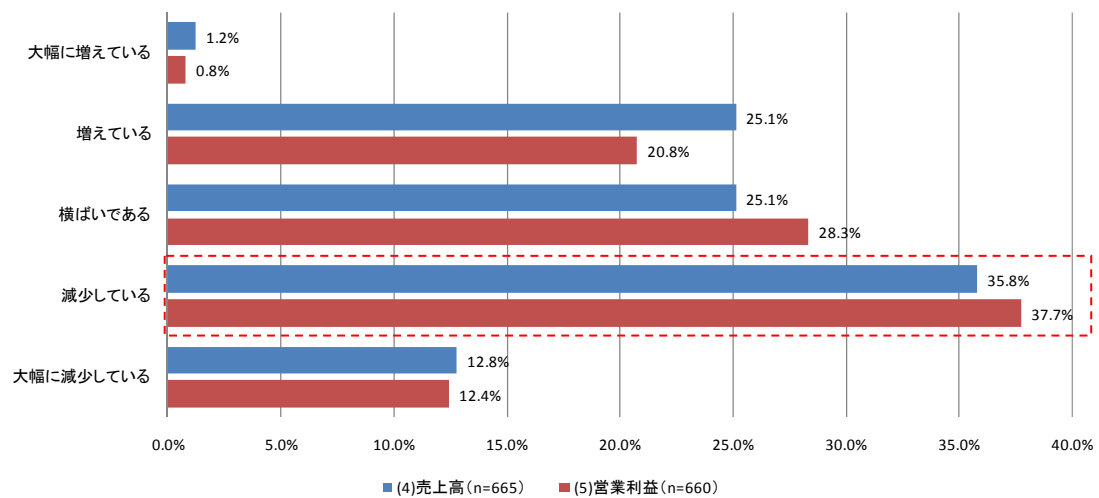
<売上高の傾向>

- ・ 売上、営業利益ともに、「減少している」と回答した企業の割合が最も高く、35%強となっている。

図表 4 売上高・営業利益額の傾向

問 1 : (4) 平成 19 年から平成 22 年 (10 月末時点) までの売上高の傾向をお教えてください。(〇はひとつだけ)

問 1 : (5) 平成 19 年から平成 22 年 (10 月末時点) まで営業利益額の傾向をお教えてください。(〇はひとつだけ)

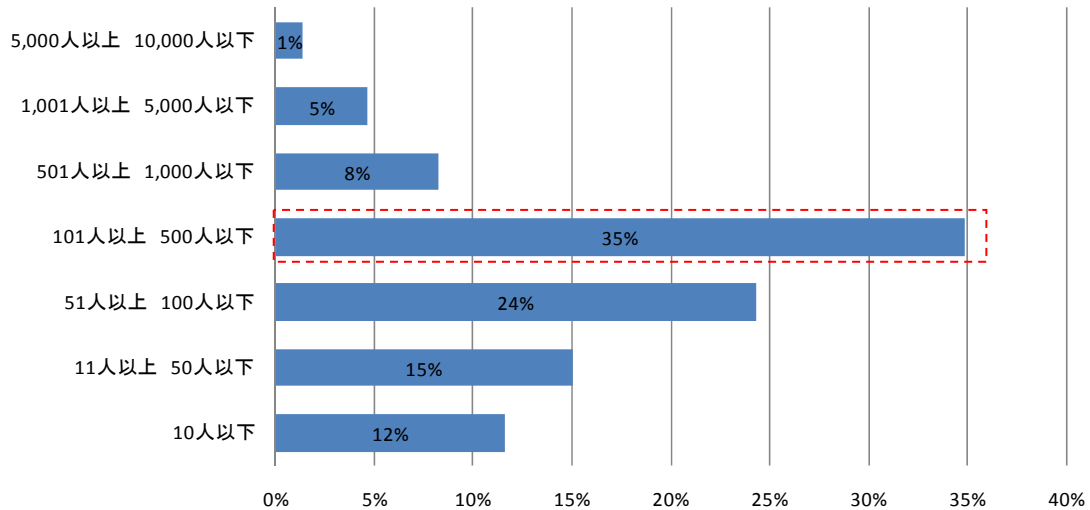


### <従業員数>

- ・ 「101人～500人以下」の企業が最も多く、35%となっている。

図表 5 従業員数

問1：(6) 平成22年10月末時点での貴社の従業員数について、その人数をご記入ください。(N=646)



## 2) 雇用状況

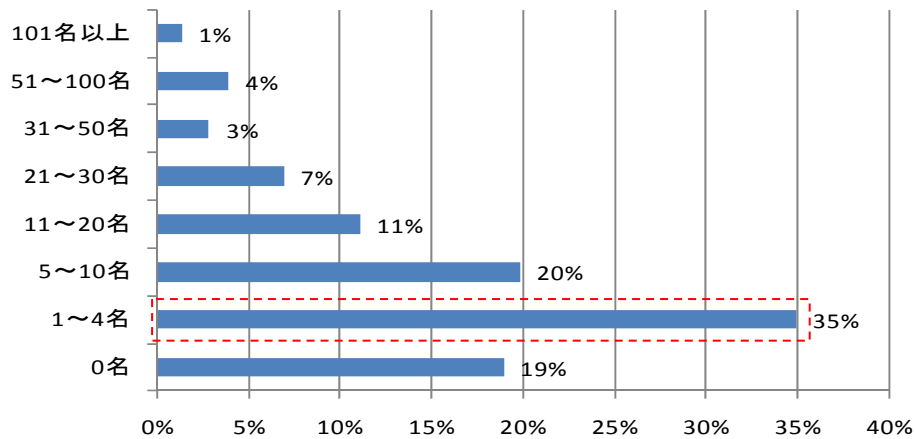
### <直近1年間の正社員採用数>

- ・ 直近1年間で、新たに雇用した正社員の数は、「1～4名」と回答した企業が最も多い。

図表 6 直近1年間の正社員雇用数

問2：(1) 直近1年間に何名程度正社員として新たに採用・登用しているか、お教えてください。(N=664)

※自社のパート、アルバイトスタッフを正社員に登用した場合も含まれます

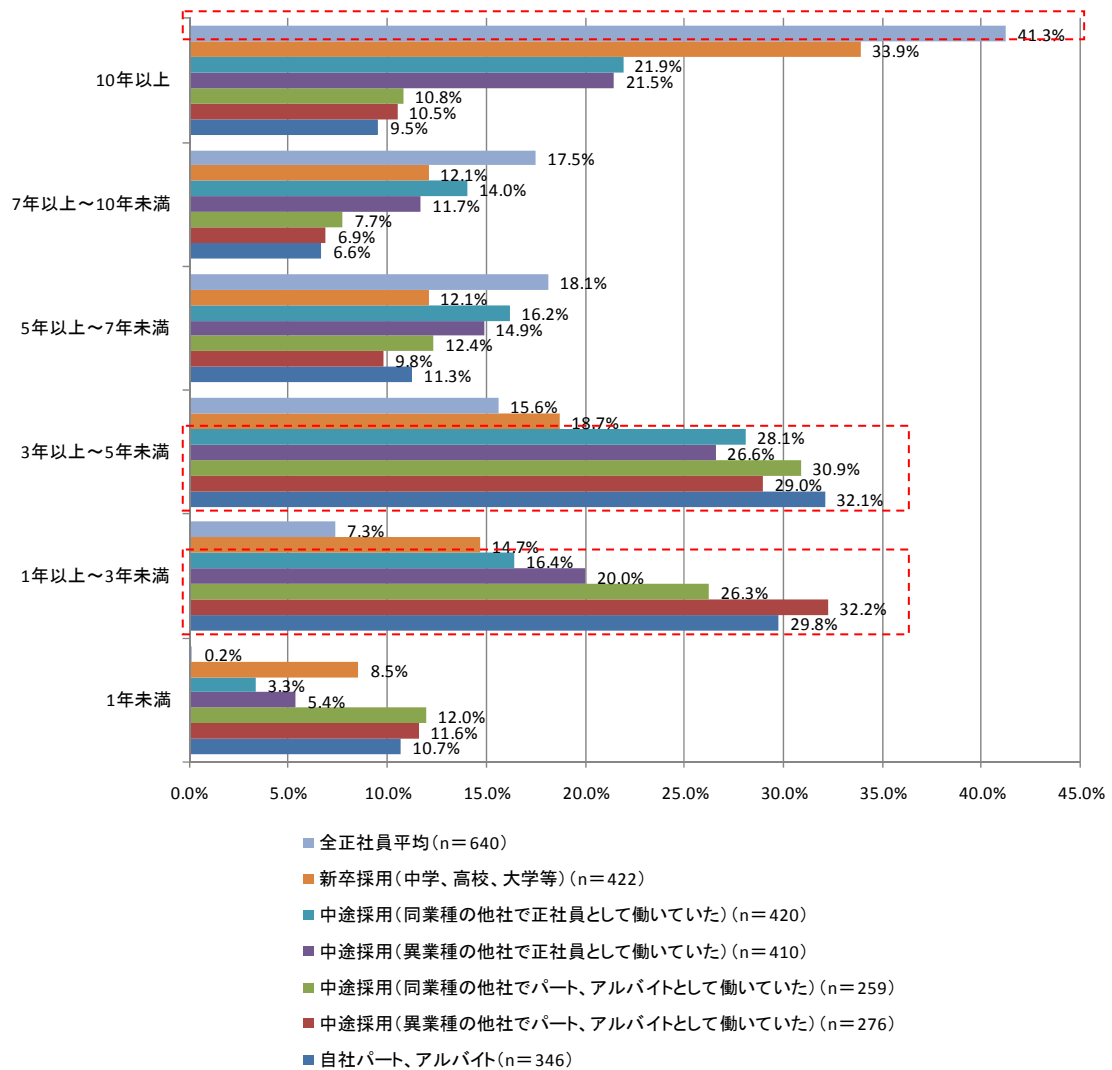


＜正社員の平均勤続年数＞

- ・ 「全社員平均」の場合、10年以上と回答した割合が最も多く、41%強となっている。その一方で、中途採用（元フリーター、正社員問わず）の場合は5年未満の割合が高く、30%前後となっている。

図表 7 対象別の平均勤続年数

問 2 : (1) 正社員の平均勤続年数をお教えてください。(〇はひとつだけ)

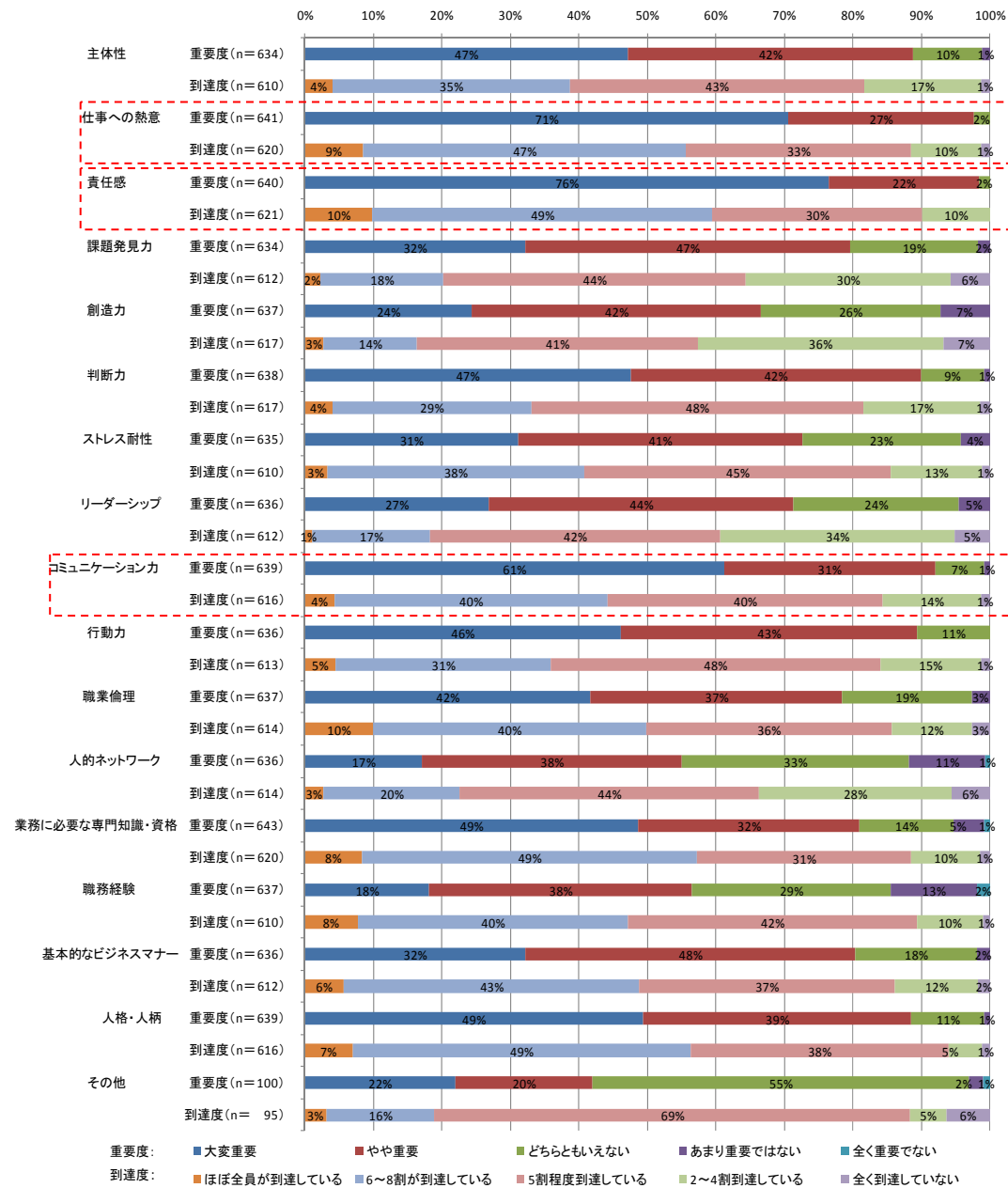


<スキルの重要度と到達度>

- 重要なスキルとして、「責任感」や「仕事への熱意」、「コミュニケーション力」を挙げた割合が多い。その一方、多くのスキルに関して、過半数以上の従業員が十分なレベルに到達していないと考えているようである。

図表 8 スキルの重要度と満足度

問 2 : (3) 以下のスキルについて、貴社で正社員として働く上での重要度と、そのスキルについて、現在雇用している正社員の到達度をお教えてください。(〇はそれぞれひとつだけ)

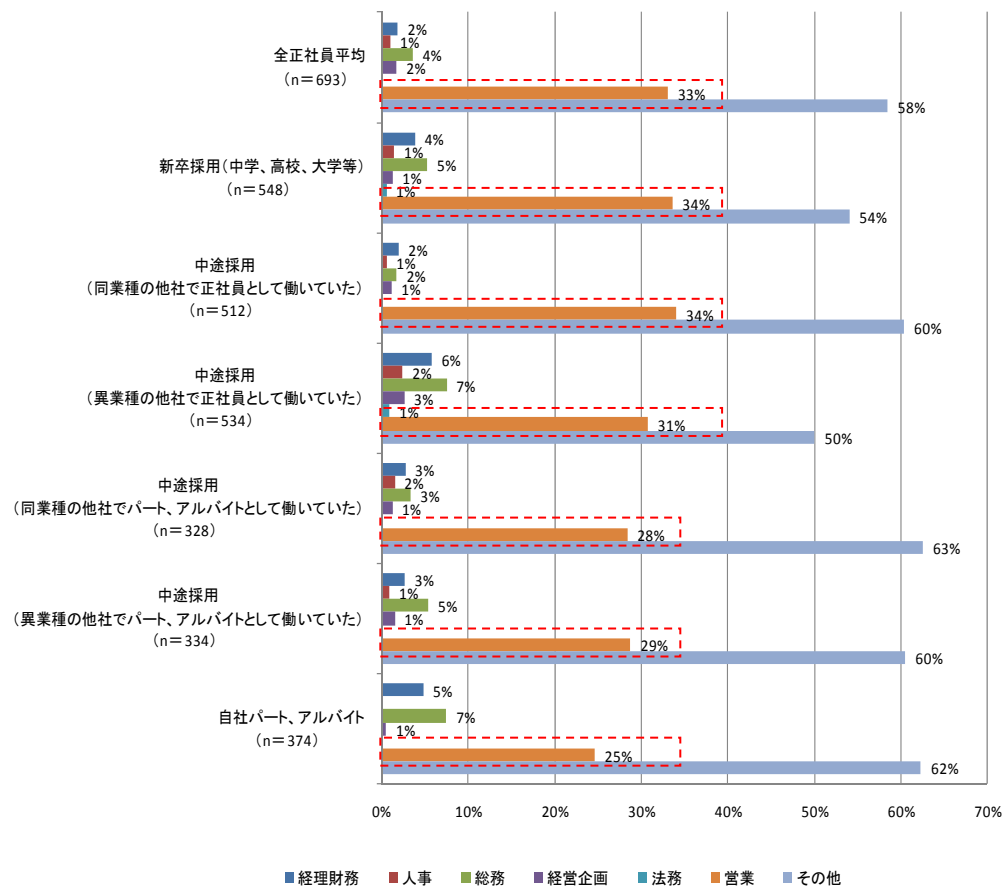


## <配属先>

- 新たに正社員として雇用した社員の配属先は、「営業職」が多いようである。ただし、「その他」と回答した企業の割合も50%以上となっている。「その他」の回答として多いのは、「ドライバー」や「講師」、「接客、介護スタッフ」、「製造ライン」、「エンジニア」等である。

図表9 正社員の配属先

問2：(4) 新たに雇用した正社員の配属先はどのような部署が多いのか、お教えてください。



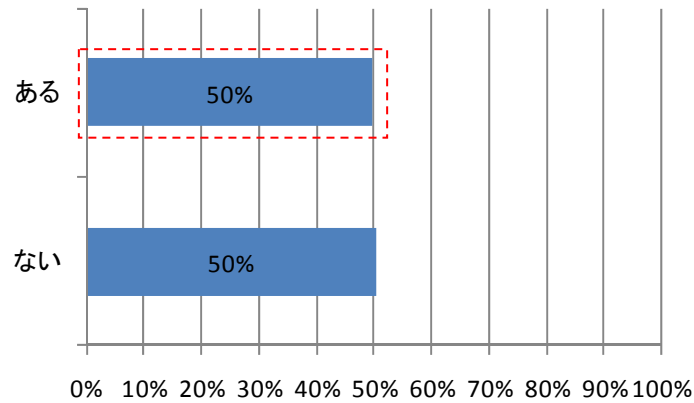
3) フリーターを正社員として雇用することへの意向

＜正社員採用における優先順位の有無＞

- ・ 「新卒」や「元正社員」、「元フリーター」などによって、採用する際の優先順位が「ある」と回答した企業は約 50%に上る。

図表 10 正社員採用における優先順位の有無

問3：(1) 正社員を新たに採用・登用しようと考えた際に、以下の図表にある1～6の採用、登用時の区分の中で優先順位があるかどうか、お教えください。(○はひとつだけ) (N=641)



※採用、登用対象の6区分

No.	区分
1	新卒採用（中学、高校、大学等）
2	中途採用（同業種の他社で正社員として働いていた）
3	中途採用（異業種の他社で正社員として働いていた）
4	中途採用（同業種の他社でパート、アルバイトとして働いていた）
5	中途採用（異業種の他社でパート、アルバイトとして働いていた）
6	自社のパート、アルバイト

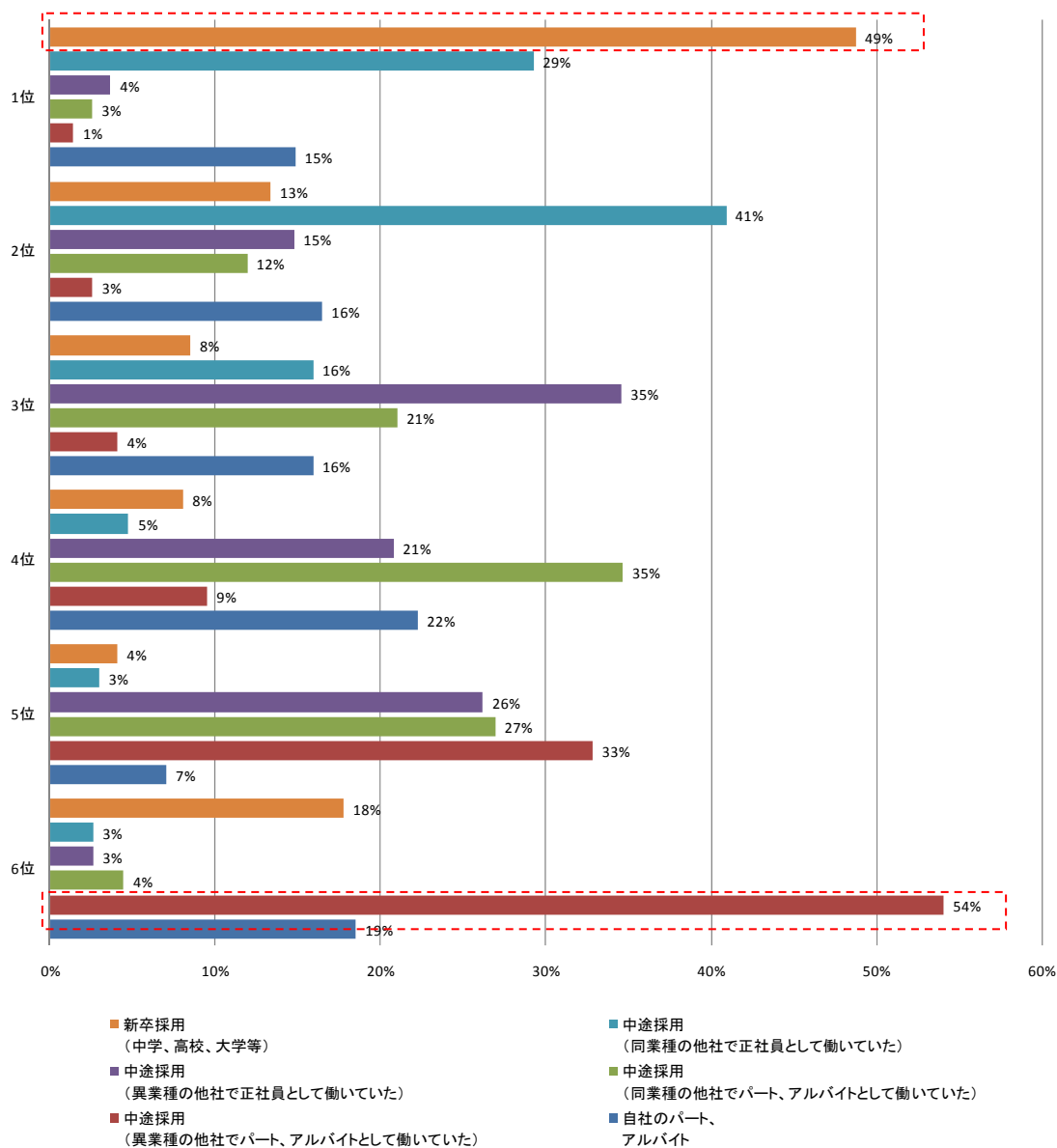
### <正社員採用における優先順位>

- ・ 1位（最も優先する）の回答の中で最も多いのは、「新卒採用」であり、約50%となっている。「元フリーター」、中でも「異業種の他社」で働く場合、その優先順位は低い結果となっている。

図表 11 対象別の優先順位

問3：(2) (1) で優先順位があると答えた人は、1～6の区分ごとにその優先順位を6段階でご記入ください。

(1：最優先～6：最も優先度が低い)

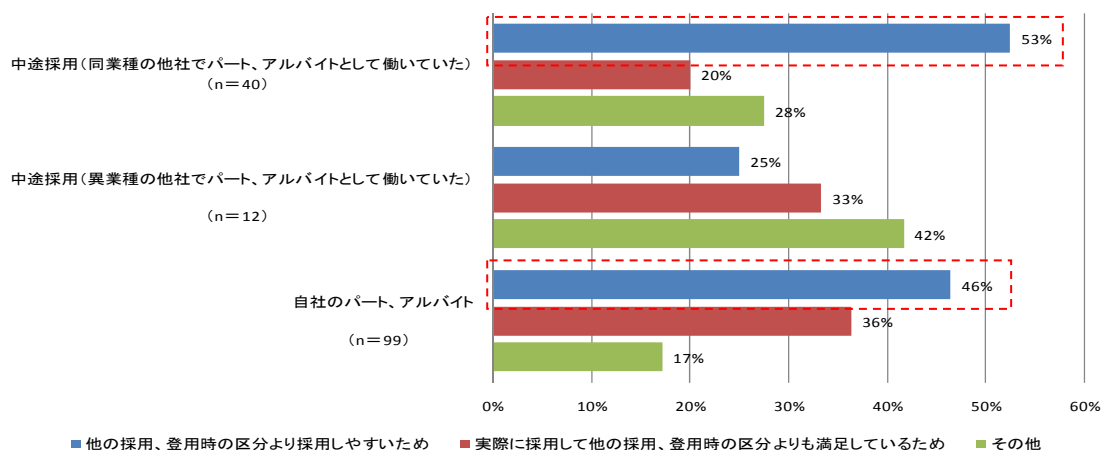


### <優先順位の理由①>

- ・ 「元フリーター」の優先順位を1位、もしくは2位とした理由として、中途採用（同業種）と自社のフリーターについては、「他の対象よりも採用し易い」ことを挙げた企業が多い。

図表 12 「元フリーター」の優先順位を1位、2位とした理由

問3：(3) (1) について、採用、登用時の区分の4~6（4. 中途（同業種の他社でパート、アルバイトとして働いていた、5. 中途採用（異業種の他社でパート、アルバイトとして働いていた） 6. 自社のパート、アルバイト））について回答頂いた優先順位について、それぞれの優先順位の理由をお教えてください。

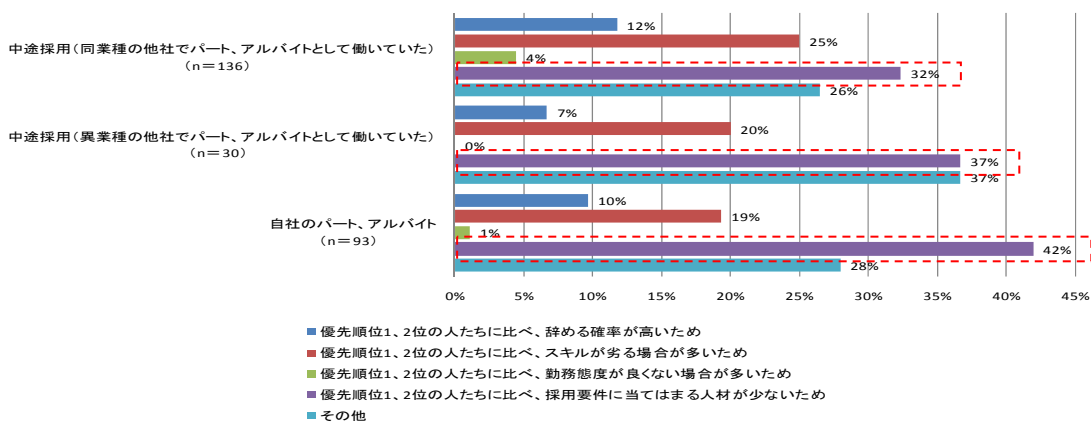


### <優先順位の理由②>

- ・ 「元フリーター」の優先順位を3位、もしくは4位とした理由としては、優先順位1位、2位と比して「採用要件に当てはまる人材が少ないこと」や「勤務態度が良くない場合が多いこと」を挙げている割合が高い。

図表 13 「元フリーター」の優先順位を3位、4位とした理由

問3：(3) (1) について、採用、登用時の区分の4~6（4. 中途（同業種の他社でパート、アルバイトとして働いていた、5. 中途採用（異業種の他社でパート、アルバイトとして働いていた） 6. 自社のパート、アルバイト））について回答頂いた優先順位について、それぞれの優先順位の理由をお教えてください。



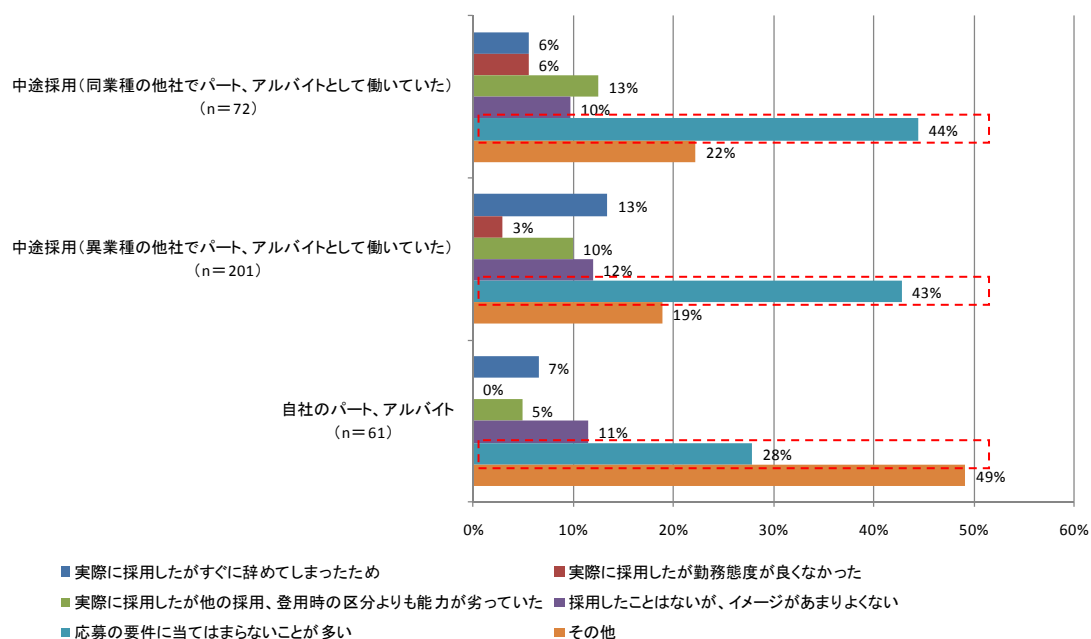


<優先順位の理由③>

- ・ 「元フリーター」の優先順位を5位、もしくは6位とした理由としては、「応募の要件に当てはまらないことが多い」という理由が多い。

図表 14 「元フリーター」の優先順位を5位、6位とした理由

問3：(3) (1) について、採用、登用時の区分の4～6（4. 中途（同業種の他社でパート、アルバイトとして働いていた、5. 中途採用（異業種の他社でパート、アルバイトとして働いていた） 6. 自社のパート、アルバイト）について回答頂いた優先順位について、それぞれの優先順位の理由をお教えください。



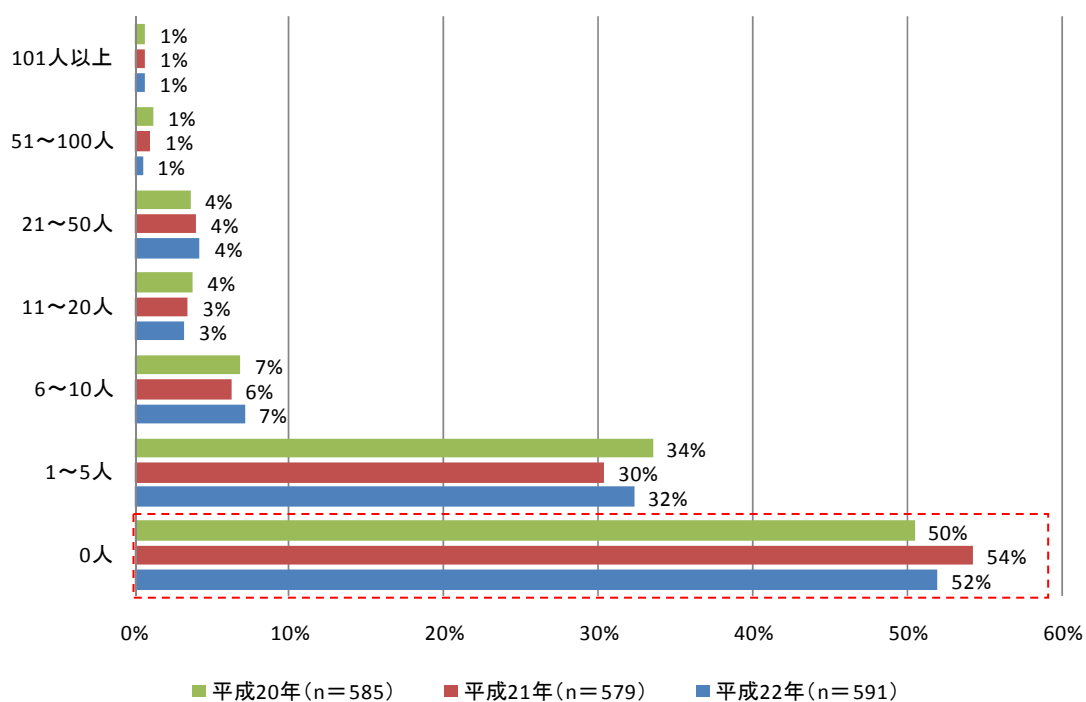
#### 4) 採用、登用に関する取り組み

##### <過去3年間の採用数>

- ・平成20年から平成22年の期間内において、半数以上の企業が「元フリーター」を正社員として採用していない。

図表 15 過去3年間で正社員として採用、登用した、「元フリーター」の人数

問4:(1) 過去3年間に正社員として採用、登用した、他社もしくは自社の元パート、アルバイトスタッフの人数をお教えてください。

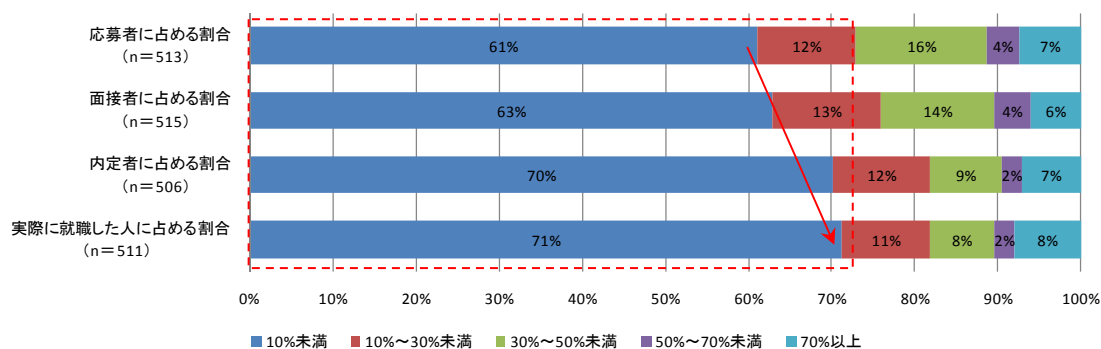


### <採用プロセスに占める割合>

- ・ 全てのプロセスにおいて、「10%未満」と回答した企業が60%以上となっている。また、その割合は採用に近付くほど高まっている。

図表 16 採用プロセスにおける「元フリーター」の割合

問4：(2) これまでに正社員を募集した際、応募者、面接者、内定者に占める元パート、アルバイトスタッフの割合はどの程度か、お教えてください。

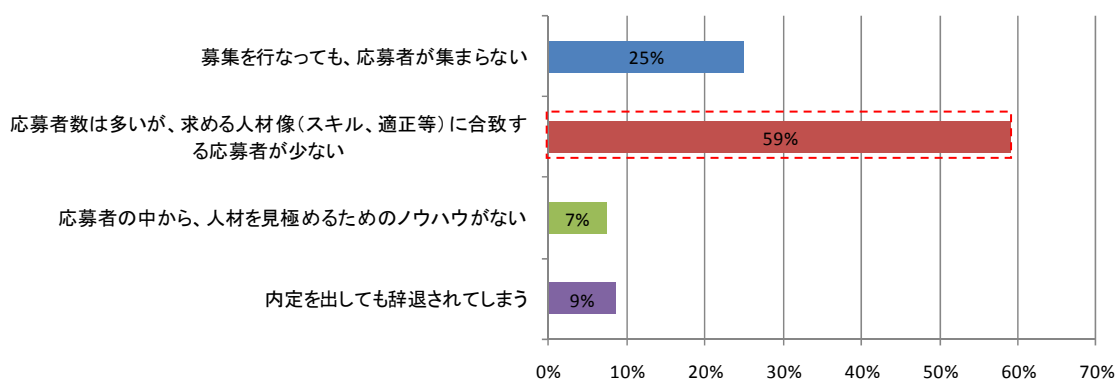


### <若年者雇用における課題>

- ・ 「若年者」の雇用に関して、「求める人材像に合致する応募者が少ない」という回答が最も多く、約60%となっている。

図表 17 若年者雇用における課題

問4：(3) 貴社が若年者を確保していく上で抱える問題点は何ですか。該当するものに○をつけてください。(N=636)



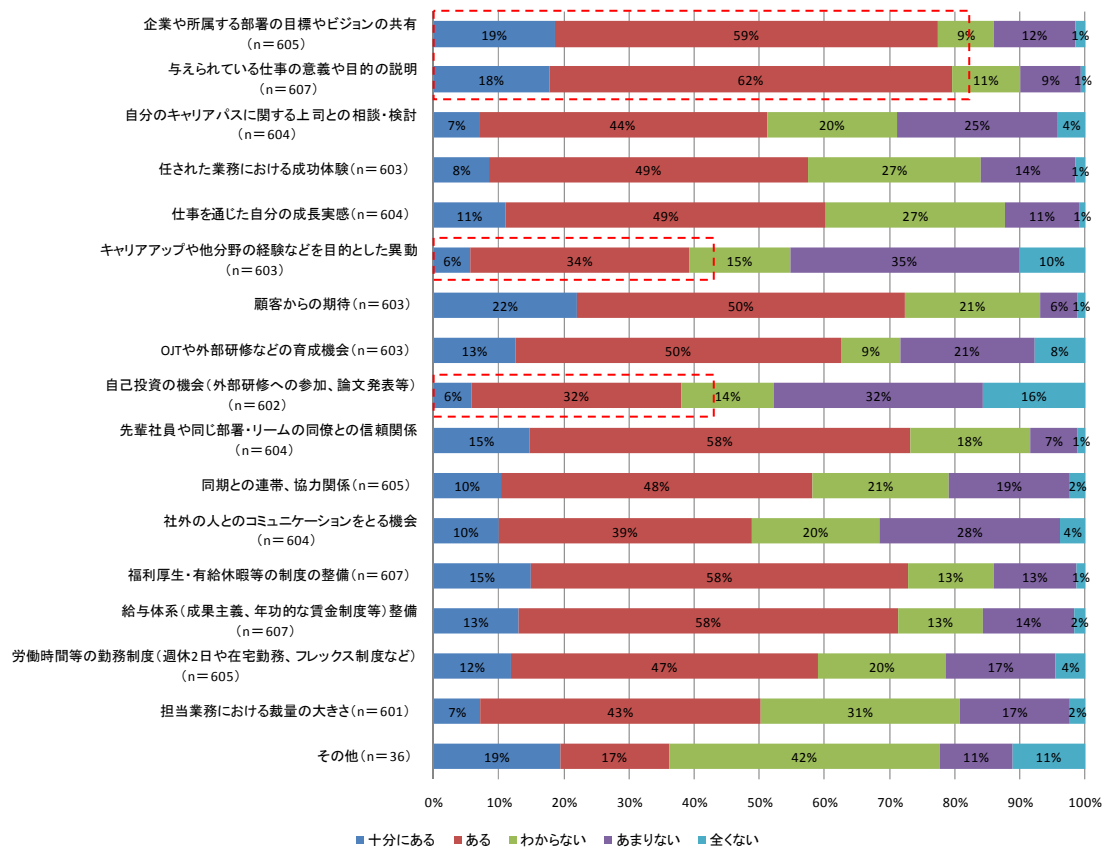
## 5) 正社員の定着に関する取り組み

### <機会の有無>

- ・ 機会が「ある」という回答の割合が高いのは、「仕事の意義や目的の説明」や「目標やビジョンの共有」である。一方で、「自己投資の機会」や「キャリアアップや他分野の経験などを目的とした異動」の機会が、他と比して少ないようである。

図表 18 正社員の定着率向上に向けた取り組み(機会の有無)

問5：(1) 貴社において、次のような機会の有無とその取り組みごとにご自身が感じていらっしゃる重要度をお教えてください。(〇はそれぞれひとつずつ)

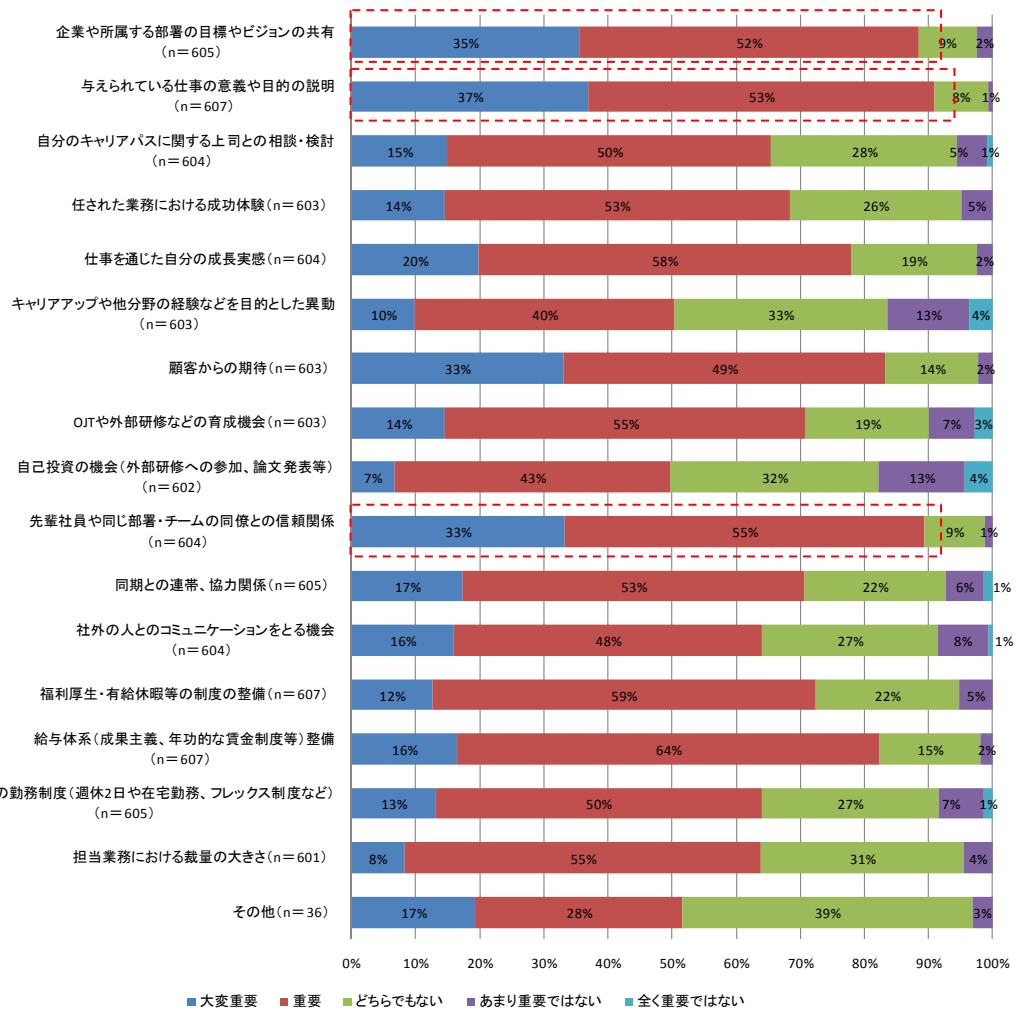


### <機会の重要度>

- ・ 機会の有無で、「有る」という回答の高かった「仕事の意義や目的の説明」や「目標やビジョンの共有」を重要と考えている傾向が強い。また、それに加え、「先輩社員や部署の同僚との信頼関係」も多くの企業が重要と考えている。

図表 19 正社員の定着率向上に向けた取り組み(機会の重要度)

問5：(1) 貴社において、次のような機会の有無とその取組みごとにご自身が感じていらっしゃる重要度をお教えてください。(〇はそれぞれひとつずつ)



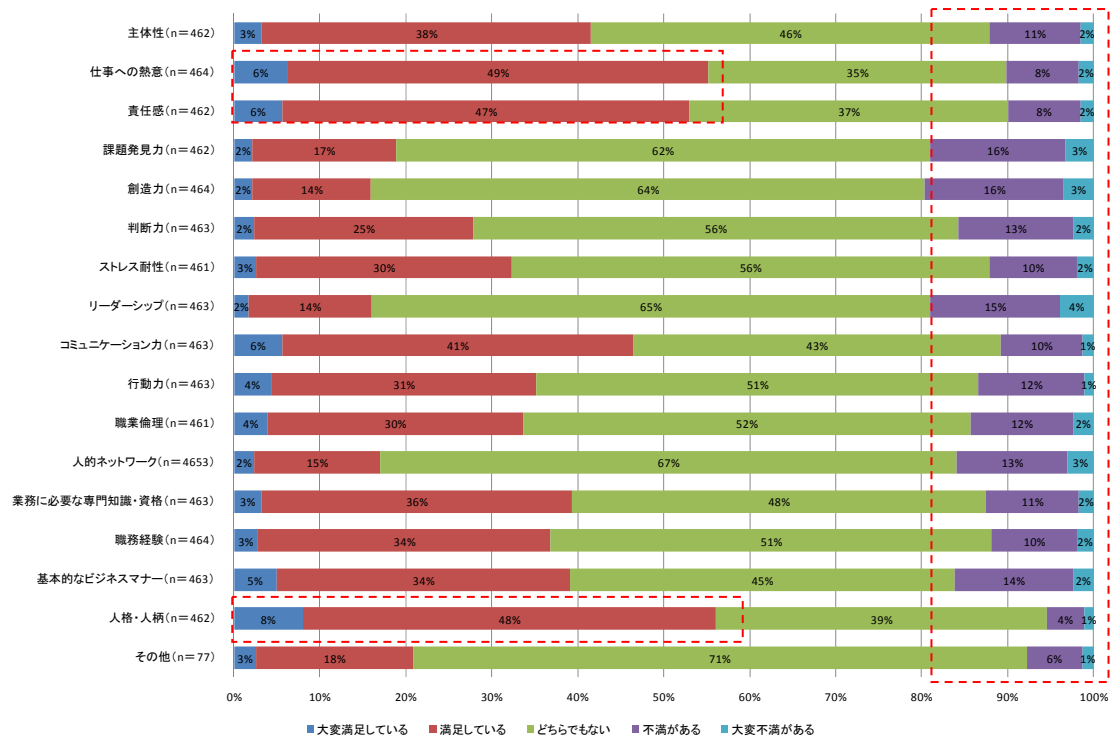
＜元フリーターの満足度＞

- ・ 「人格・人柄」や「仕事への熱意」、「責任感」について、約 50%の企業が「満足している」と回答している。また、「不満がある」と回答した企業は、最大でも 20%未満である。

図表 20 「元フリーター」の採用後の満足度

問5：(2) 実際に採用、登用した元パートアルバイトスタッフについて、どの程度満足しているか教えてください。

(〇はそれぞれひとつずつ)

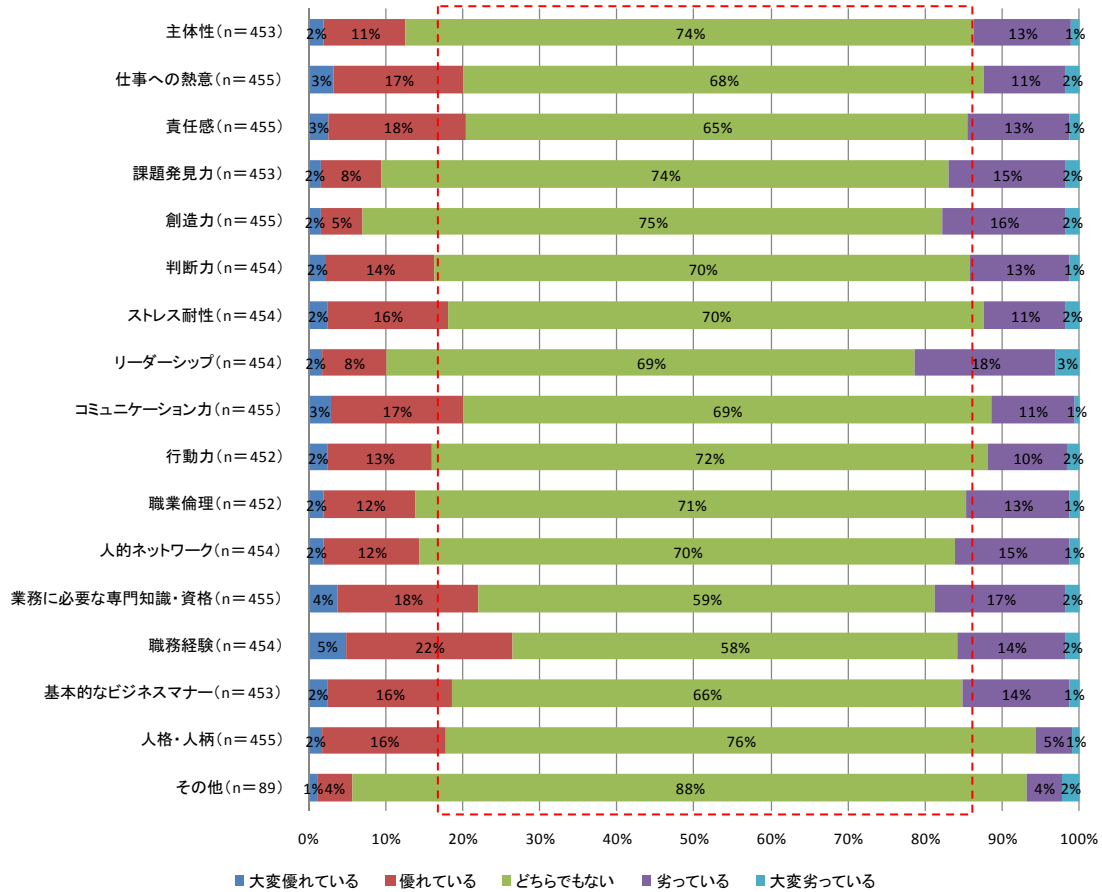


<元フリーターと新卒、中途（他社の正社員）との比較>

- ・ ほぼ全ての項目で、約7割の企業が「どちらでもない」と回答している。

図表 21 「元フリーター」と「新卒」や「元正社員」とのスキル差

問5：(3) 採用、登用した元パート、アルバイトスタッフについて、新卒や中途（他社の正社員）と比較して、上記の項目に差があるか教えてください。（○はそれぞれひとつ）



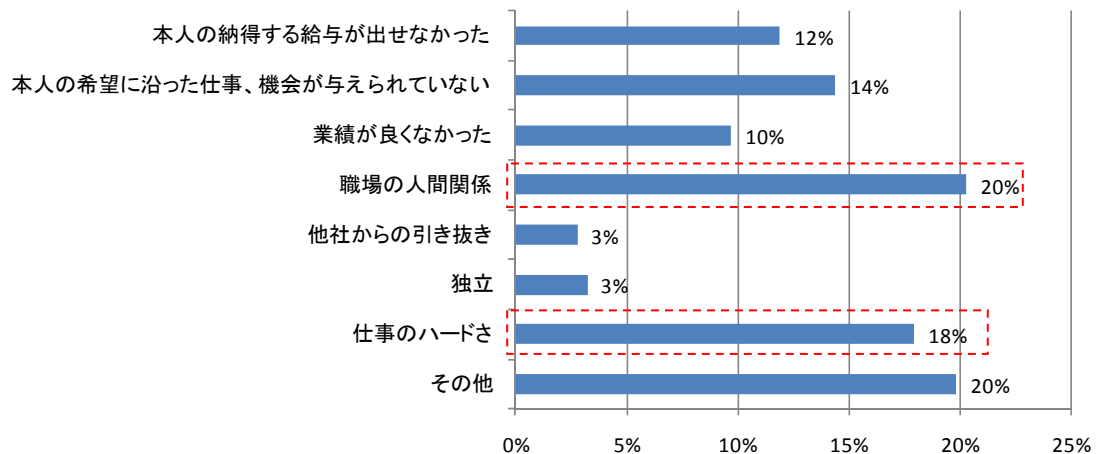
### <離職の理由>

- ・ 離職理由として、「職場の人間関係」や「仕事のハードさ」を挙げた割合が高い。

図表 22 「元フリーター」が離職した理由

問5：(4) 実際に採用、登用した元パート、アルバイトスタッフが離職した際の理由を、以下からお選びください。

(〇はいくつでも) (N=681)





## 従業者向けアンケート調査の結果概要

### 1. 1 アンケート調査の背景と目的

若年者の雇用環境が悪化する中、今後の就職支援に関する施策立案の検討資料として、若年労働雇用者の雇用に関する実態を把握する。

### 1. 2 アンケート調査の概要

〈調査名〉	仕事に対するアンケート
〈調査期間〉	平成 23 年 1 月 18 日（火）～平成 23 年 1 月 19 日（水）
〈調査方法〉	インターネット
〈調査対象〉	弊社インターネットリサーチサービス True Navi のモニター （約 50 万人）から以下の条件にあてはまるモニター1,000 名

### 1. 3 単純集計結果

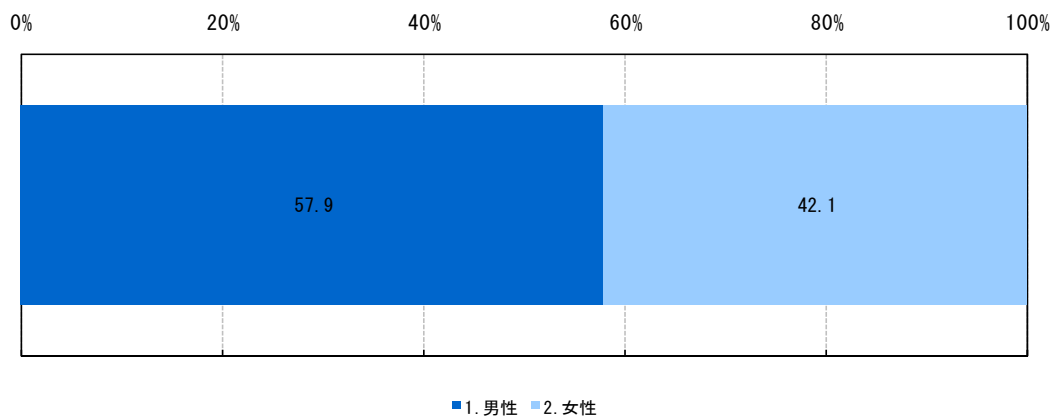
正社員として採用された元フリーターについては、フリーターとして働いていた企業とはまったく関連のない企業に正社員として採用された割合が7割を超えるなど、一般的に言われている（アルバイト・パート先に正社員として採用される、あるいは同業種の企業に採用される場合が多い）こととはまったく違った結果が出ている。

#### 1)回答者の属性

##### ・性別

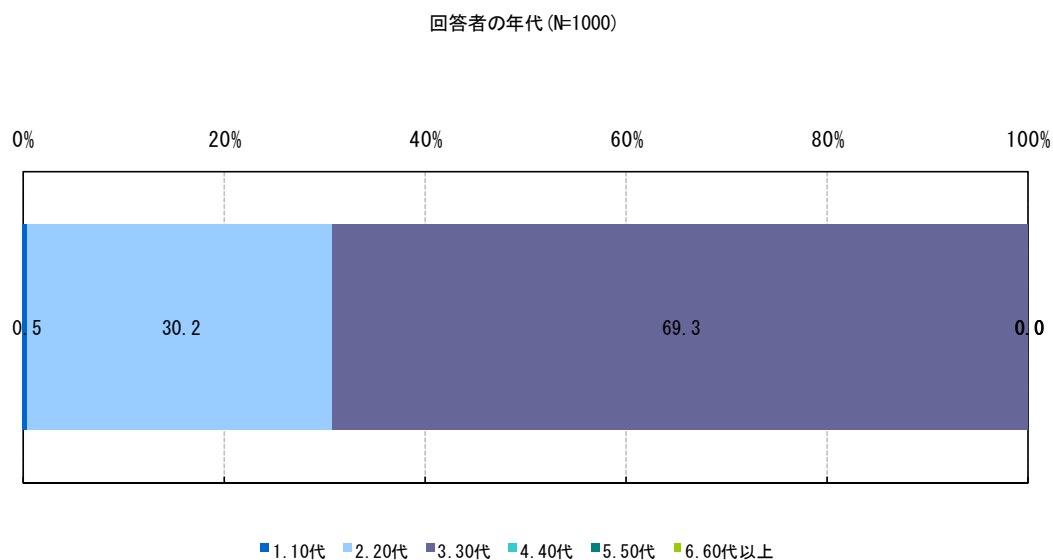
「男性」57.9%、「女性」42.1%となっている。

回答者の男女比(N=1000)



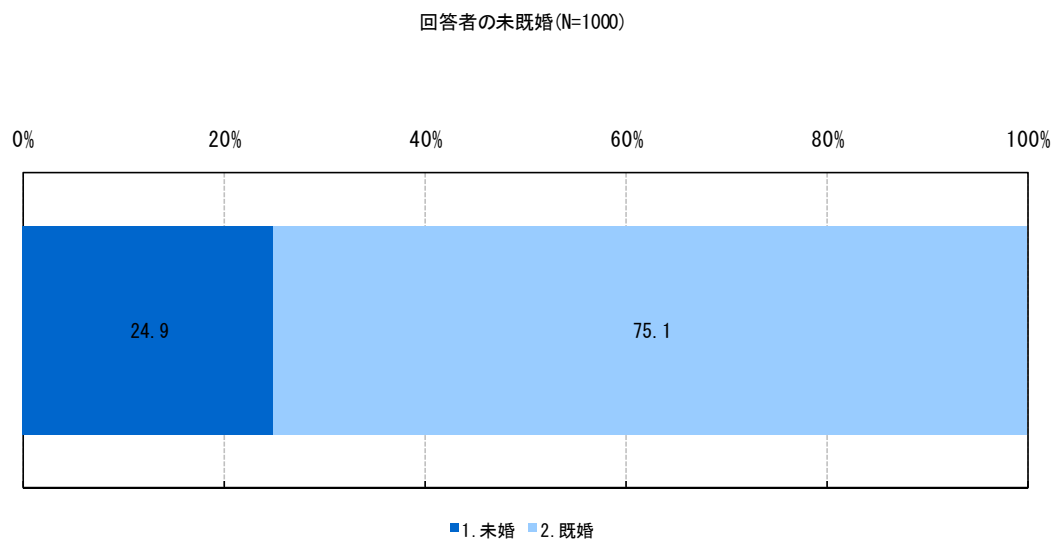
・年代

10代が0.5%、20代が30.2%、30代が69.3%、40代、50代、60代以上が0.0%となっている。

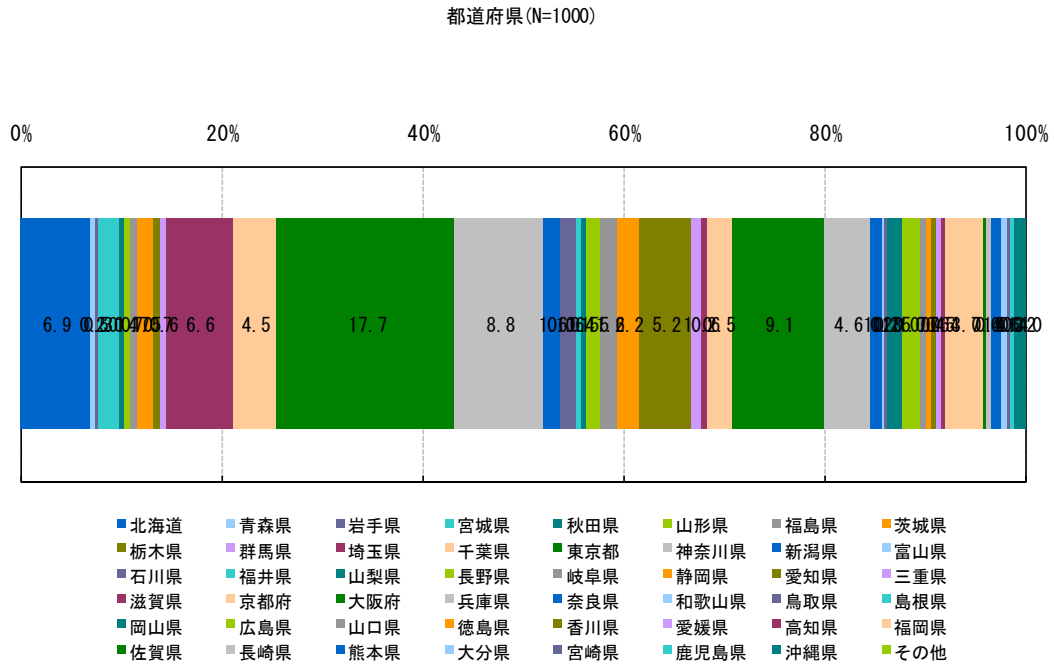


・未既婚

「未婚」が24.9%、「既婚」が75.1%となっている。

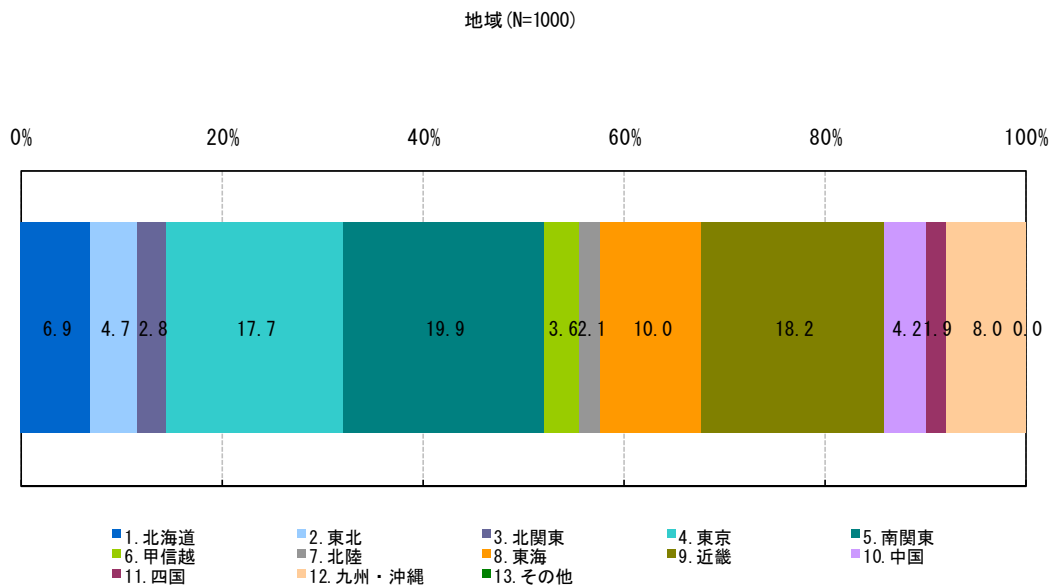


・ 都道府県



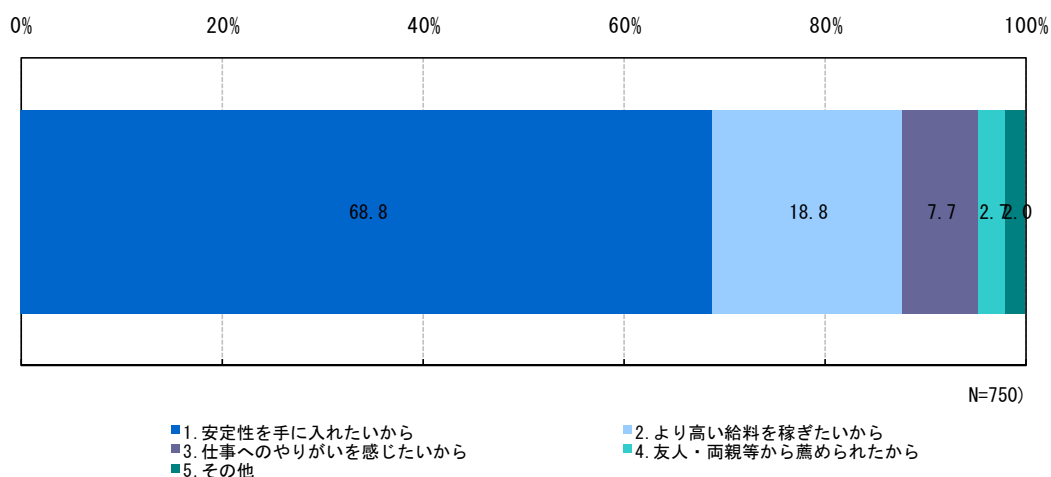
・ 地域

「北海道」が6.9%、「東北」が4.7%、「北関東」が2.8%、「東京」が17.7%、「南関東」が19.9%、「甲信越」が3.6%、「北陸」が2.1%、「東海」が10%、「近畿」が18.2%、「中国」が4.2%、「四国」が1.9%、「九州・沖縄」が8%、「その他」が0%となっている。



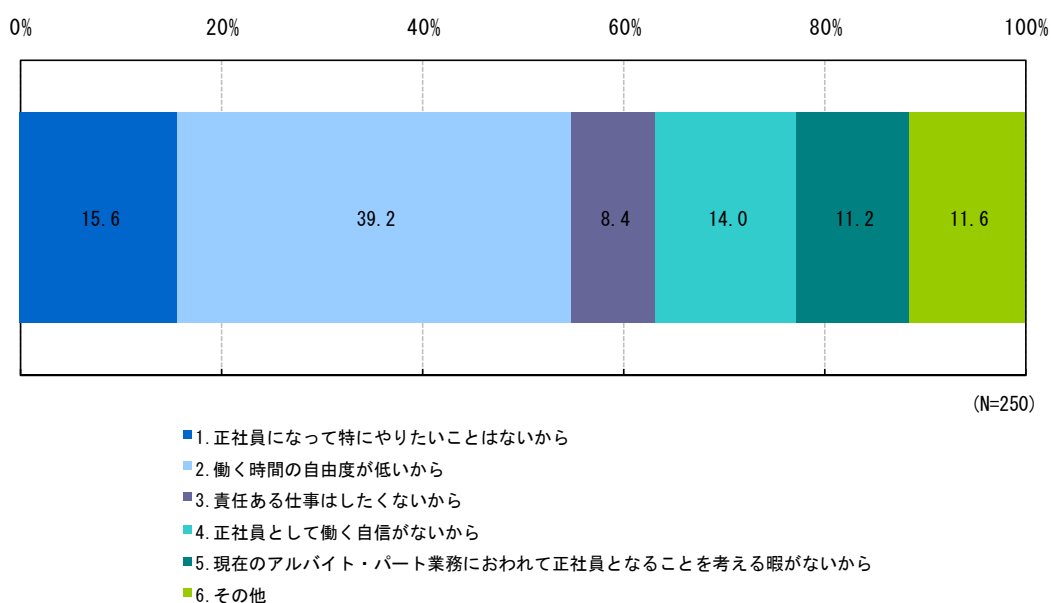
問1. 正社員への意欲を持ったきっかけは何ですか。最もあてはまるものをお知らせください。(ひとつだけ)【必須】

「安定性を手に入れたいから」が 68.8%、「より高い給料を稼ぎたいから」が 18.8%、「仕事へのやりがいを感じたいから」が 7.7%、「友人・両親等から薦められたから」が 2.7%、「その他」が 2%となっている。



問2. 正社員で働きたいと考えていない理由は何ですか。最もあてはまるものをお知らせください。(ひとつだけ)【必須】

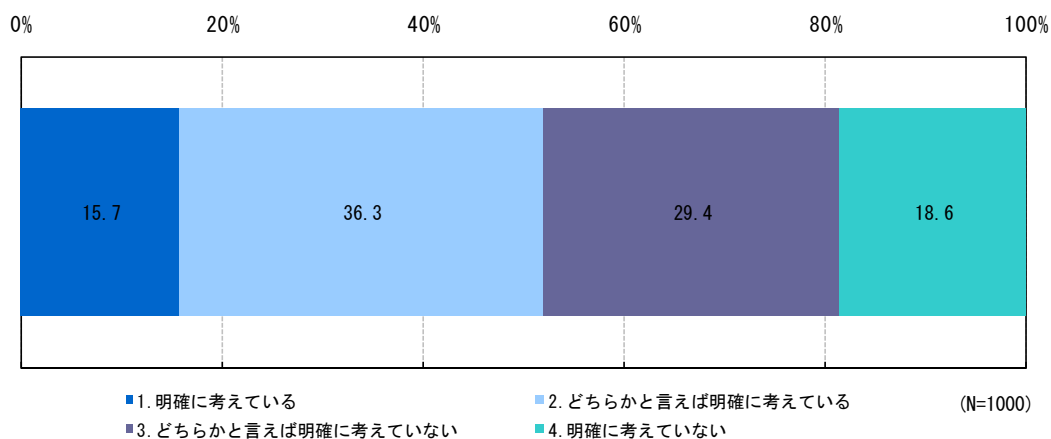
「正社員になって特にやりたいことはないから」が 15.6%、「働く時間の自由度が低いから」39.2%、「責任ある仕事はしたくないから」が 8.4%、「正社員として働く自信がないから」が 14%、「現在のアルバイト・パート業務におわれて正社員となることを考える暇がないから」が 11.2%、「その他」が 11.6%となっている。



**問3.** あなたは、今後仕事を通じて実現したいことや、就職・転職活動の方向性を明確に考えていますか。あてはまるものをお知らせください。(それぞれひとつだけ) 【必須】

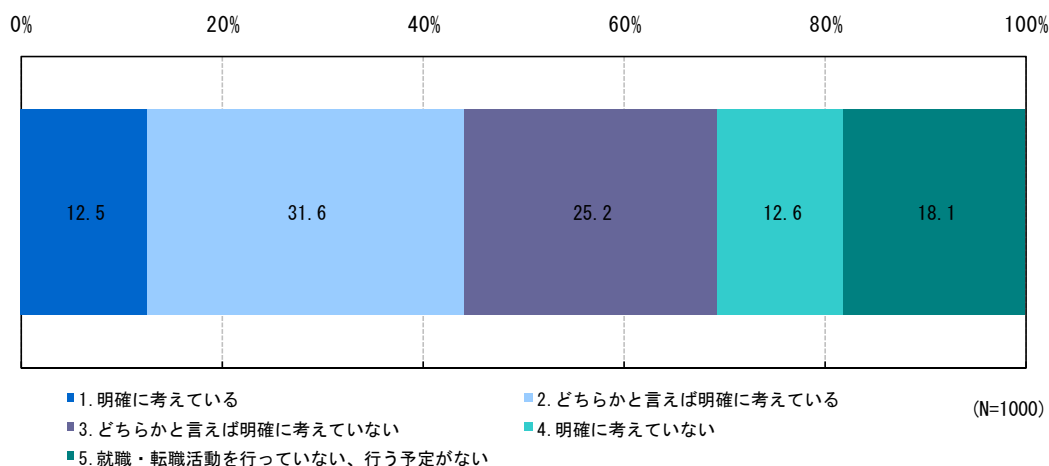
【仕事を通じて実現したいこと】

「明確に考えている」が 15.7%、「どちらかと言えば明確に考えている」が 36.3%、「どちらかと言えば明確に考えていない」が 29.4%、「明確に考えていない」が 18.6%となっている。

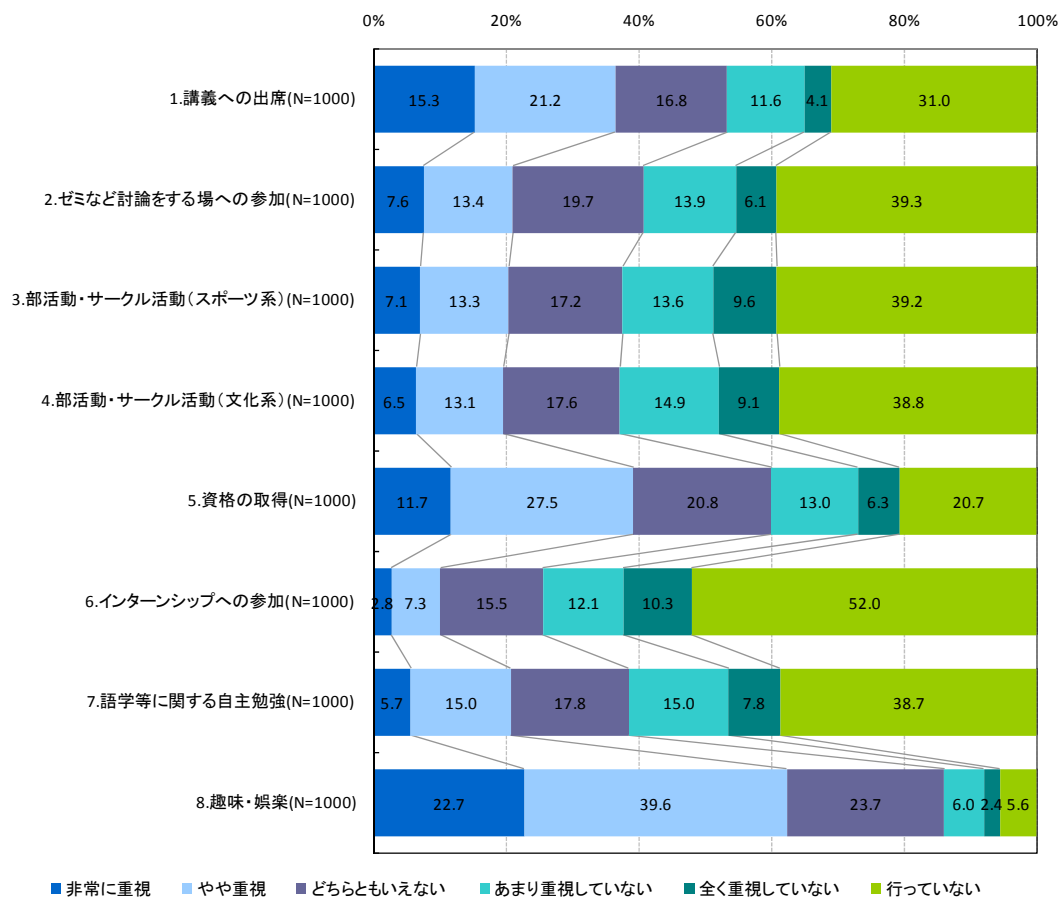


【就職・転職活動の方向性】

「明確に考えている」が 12.5%、「どちらかと言えば明確に考えている」が 31.6%、「どちらかと言えば明確に考えていない」が 25.2%、「明確に考えていない」が 12.6%、「就職・転職活動を行っていない、行う予定がない」が 18.1%となっている。



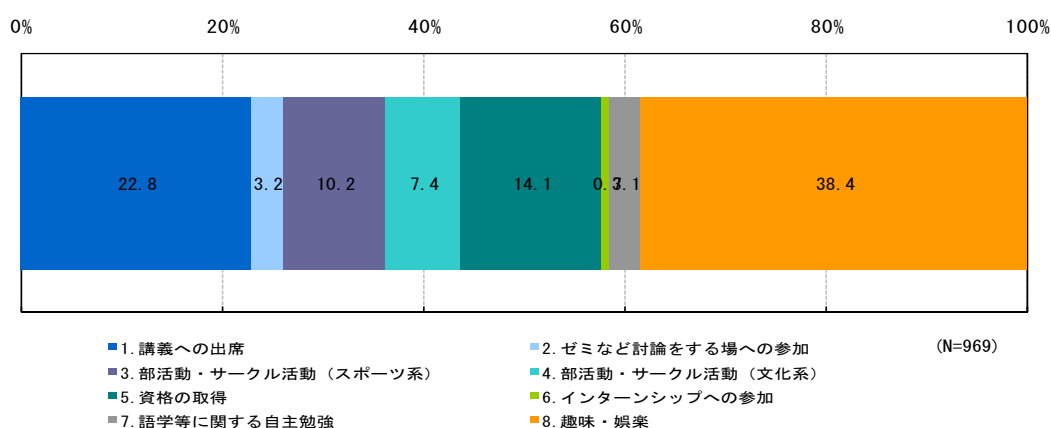
問4. あなたは学生時代に以下にあげる活動を行いましたか。行った場合は、それらの活動に対するあなたの重視度をお知らせください。(それぞれひとつだけ)【必須】



問 4-1.あなたが学生時代に実際に行った各活動のうち、最も時間を費やした活動をお知らせください。(ひとつだけ)【必須】

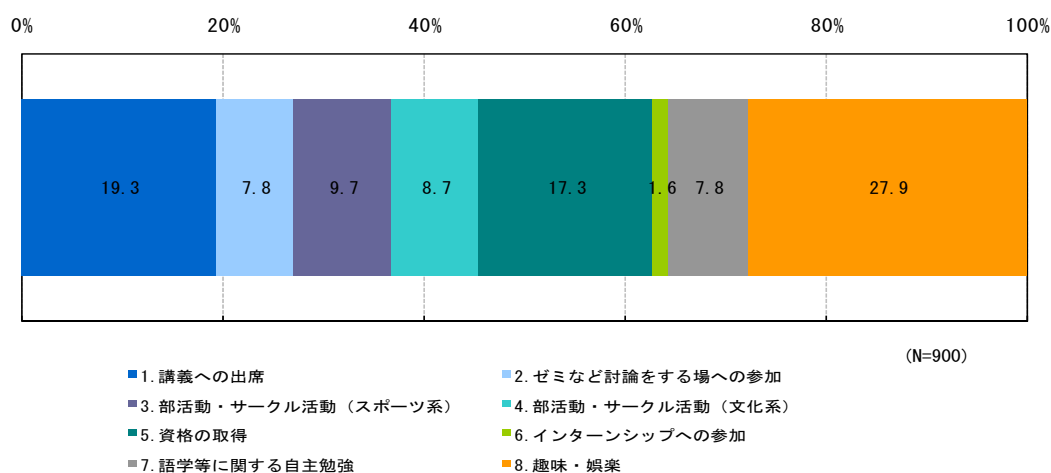
※問 4 で「行っていない」以外を選択したものを表示

「講義への出席」が 22.8%、「ゼミなど討論をする場への参加」が 3.2%、「部活動・サークル活動（スポーツ系）」が 10.2%、「部活動・サークル活動（文化系）」が 7.4%、「資格の取得」が 14.1%、「インターンシップへの参加」が 0.7%、「語学等に関する自主勉強」が 3.1%、「趣味・娯楽」が 38.4%、となっている。



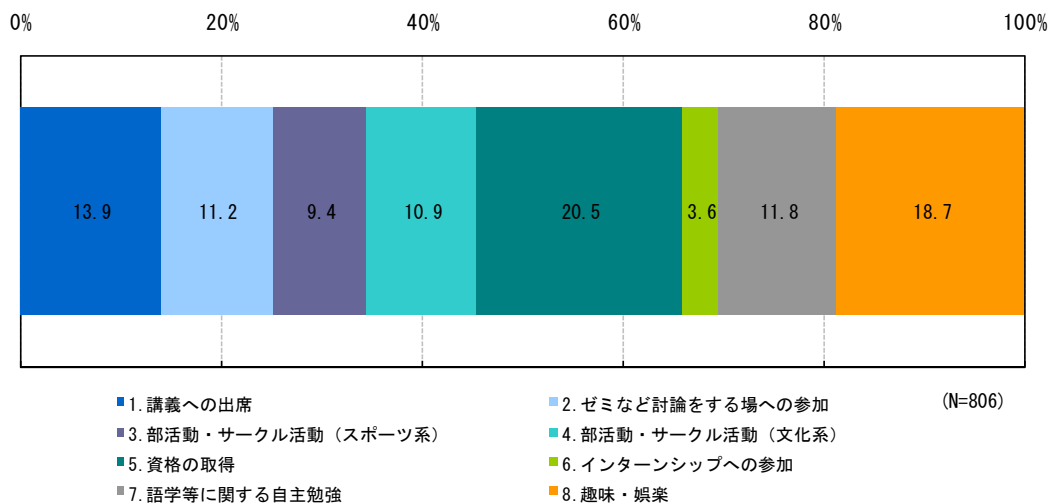
問 4-2.あなたが学生時代に実際に行った各活動のうち、2番目に時間を費やした活動をお知らせください。(ひとつだけ)【必須】

「講義への出席」が 19.3%、「ゼミなど討論をする場への参加」が 7.8%、「部活動・サークル活動（スポーツ系）」が 9.7%、「部活動・サークル活動（文化系）」が 8.7%、「資格の取得」が 17.3%、「インターンシップへの参加」が 1.6%、「語学等に関する自主勉強」が 7.8%、「趣味・娯楽」が 27.9%、となっている。



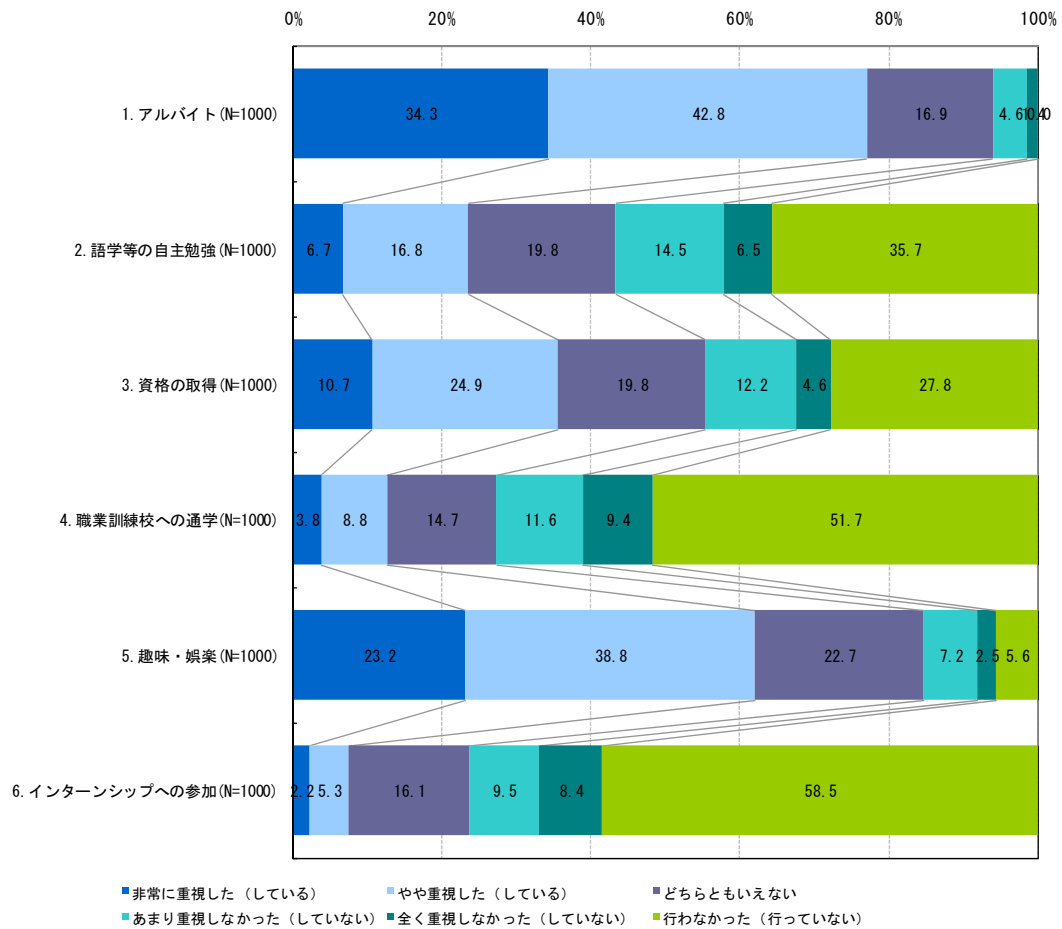
問 4-3.あなたが学生時代に実際に行った各活動のうち、3番目に時間を費やした活動をお知らせください。(ひとつだけ)【必須】

「講義への出席」が 13.9%、「ゼミなど討論をする場への参加」が 11.2%、「部活動・サークル活動（スポーツ系）」が 9.4%、「部活動・サークル活動（文化系）」が 10.9%、「資格の取得」が 20.5%、「インターンシップへの参加」が 3.6%、「語学等に関する自主勉強」が 11.8%、「趣味・娯楽」が 18.7%、となっている。



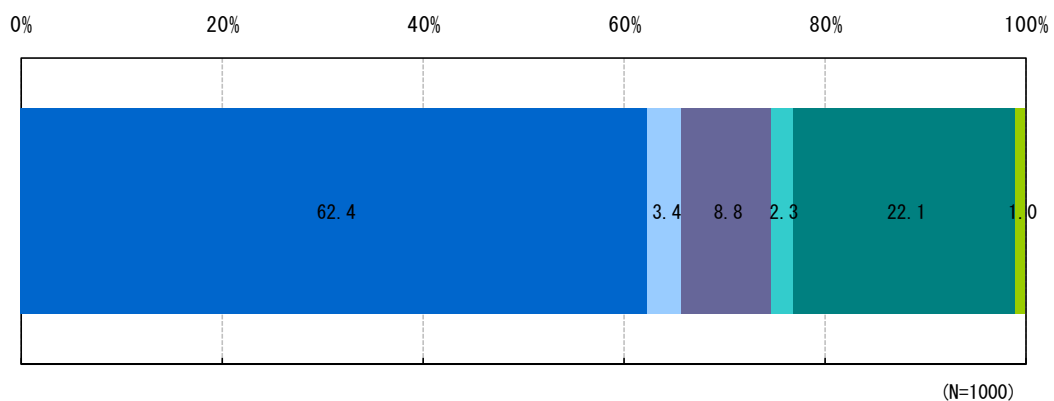


問5. あなたはフリーター時代（現在、フリーターの方も含みます）に、以下にあげる活動を行いましたか（行っていますか）。行った（行っている）場合は、それらの活動に対するあなたの重視度をお知らせください。（それぞれひとつだけ）【必須】



**問 5-1.**あなたがフリーター時代（現在、フリーターの方も含みます）に、実際に行った（行っている）各活動のうち、最も時間を費やした活動をお知らせください。（ひとつだけ）【必須】

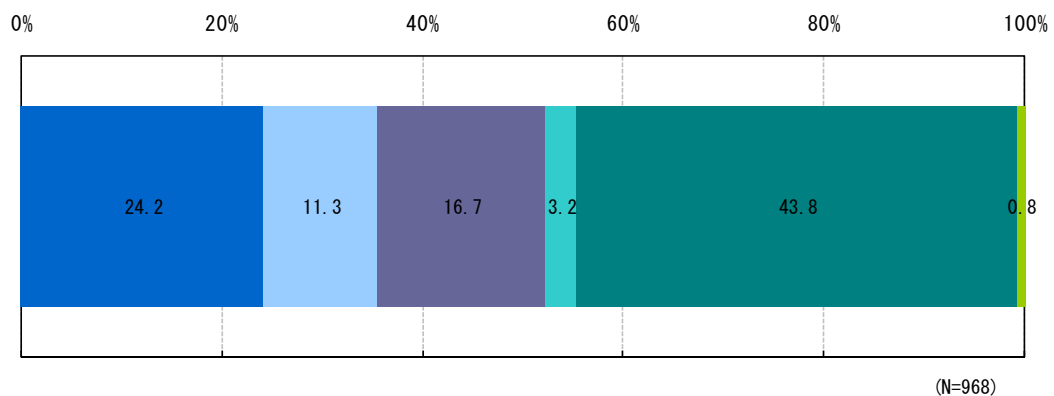
「アルバイト」が 62.4%、「語学等の自主勉強」が 3.4%、「資格の取得」が 8.8%、「職業訓練校への通学」が 2.3%、「趣味・娯楽」が 22.1%、「インターンシップへの参加」が 1%、となっている。



■ 1. アルバイト ■ 2. 語学等の自主勉強 ■ 3. 資格の取得 ■ 4. 職業訓練校への通学 ■ 5. 趣味・娯楽 ■ 6. インターンシップへの参加

**問 5-2.**あなたがフリーター時代（現在、フリーターの方も含みます）に、実際に行った（行っている）各活動のうち、2番目に時間を費やした活動をお知らせください。（ひとつだけ）【必須】

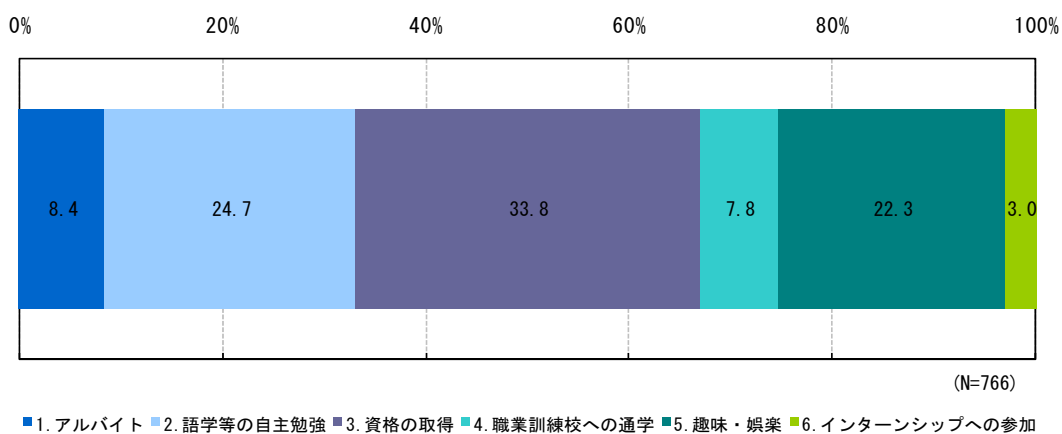
「アルバイト」が 24.2%、「語学等の自主勉強」が 11.3%、「資格の取得」が 16.7%、「職業訓練校への通学」が 3.2%、「趣味・娯楽」が 43.8%、「インターンシップへの参加」が 0.8%、となっている。



■ 1. アルバイト ■ 2. 語学等の自主勉強 ■ 3. 資格の取得 ■ 4. 職業訓練校への通学 ■ 5. 趣味・娯楽 ■ 6. インターンシップへの参加

問 5-3.あなたがフリーター時代（現在、フリーターの方も含みます）に、実際に行った（行っている）各活動のうち、3番目に時間を費やした活動をお知らせください。（ひとつだけ）【必須】

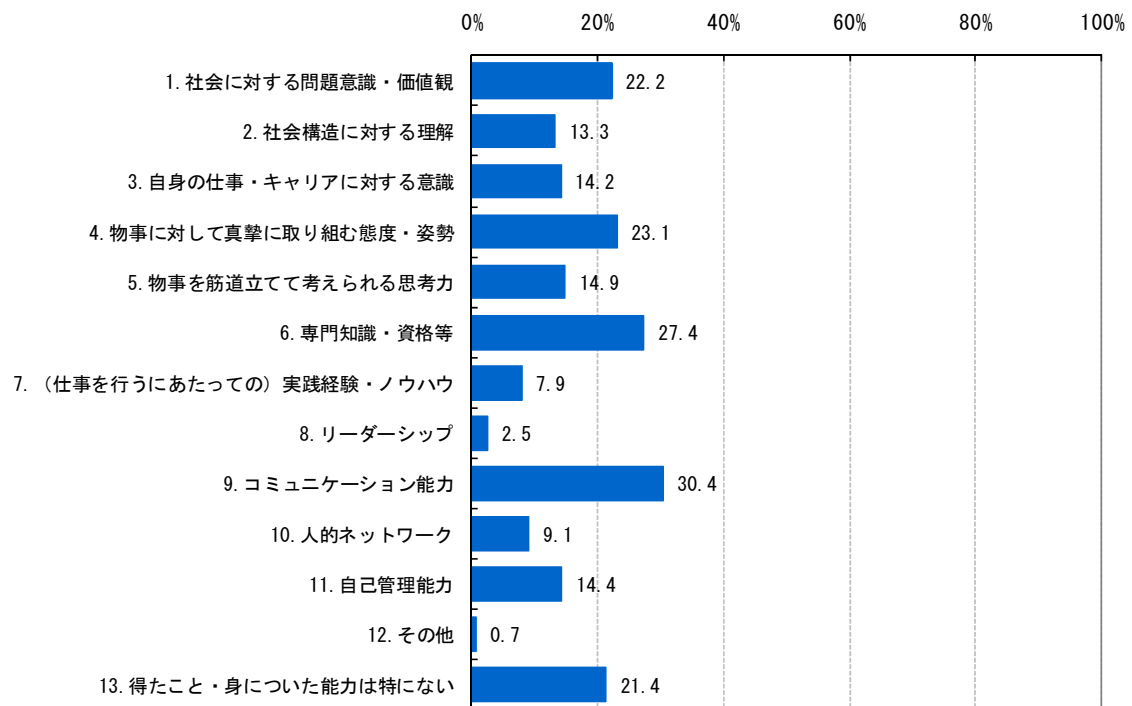
「アルバイト」が 8.4%、「語学等の自主勉強」が 24.7%、「資格の取得」が 33.8%、「職業訓練校への通学」が 7.8%、「趣味・娯楽」が 22.3%、「インターンシップへの参加」が 3%、となっている。



■ 1. アルバイト ■ 2. 語学等の自主勉強 ■ 3. 資格の取得 ■ 4. 職業訓練校への通学 ■ 5. 趣味・娯楽 ■ 6. インターンシップへの参加

問6. 学生時代にあなたが得たこと・身についた能力はどのようなものですか。よりあてはまるものを3つまでお知らせください。(最大3つまで) 【必須】

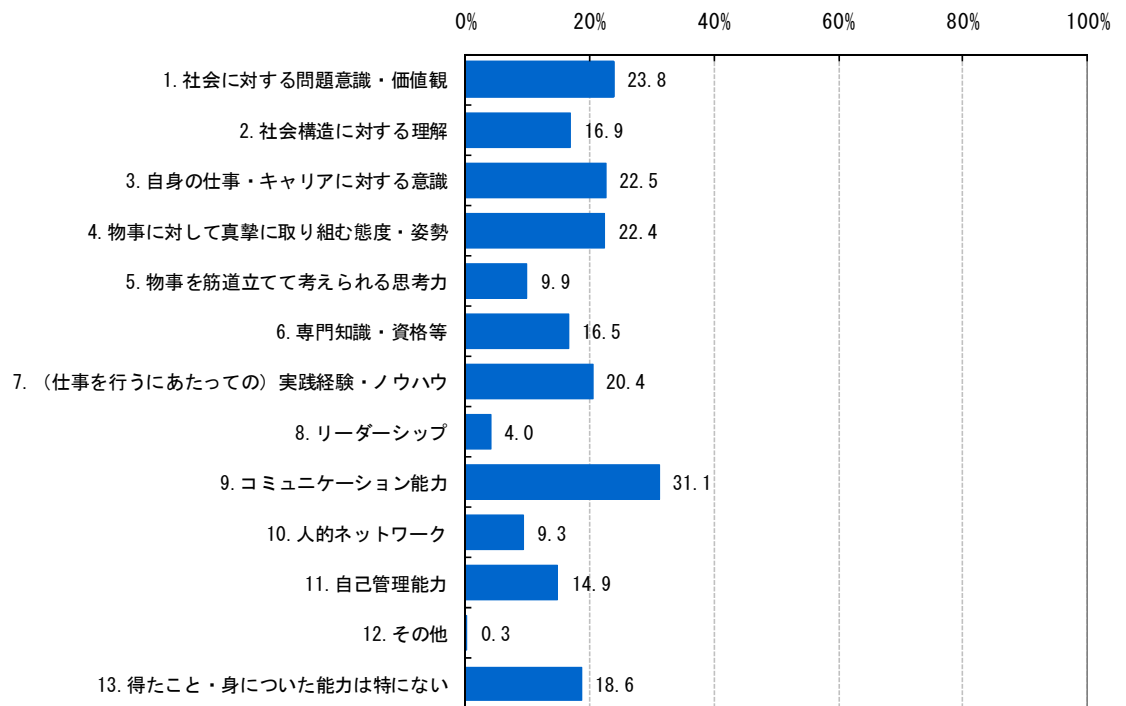
「社会に対する問題意識・価値観」が 22.2%、「社会構造に対する理解」が 13.3%、「自身の仕事・キャリアに対する意識」が 14.2%、「物事に対して真摯に取り組む態度・姿勢」が 23.1%、「物事を筋道立てて考えられる思考力」が 14.9%、「専門知識・資格等」が 27.4%、「(仕事を行うにあたっての) 実践経験・ノウハウ」が 7.9%、「リーダーシップ」が 2.5%、「コミュニケーション能力」が 30.4%、「人的ネットワーク」が 9.1%、「自己管理能力」が 14.4%、「その他」が 0.7%、「得たこと・身についた能力は特にない」が 21.4%、となっている。



(N=1000)

問7.フリーター時代（現在、フリーターの方も含みます）に、あなたが得たこと・身についた能力はどのようなものですか。よりあてはまるものを3つまでお知らせください（最大3つまで）【必須】

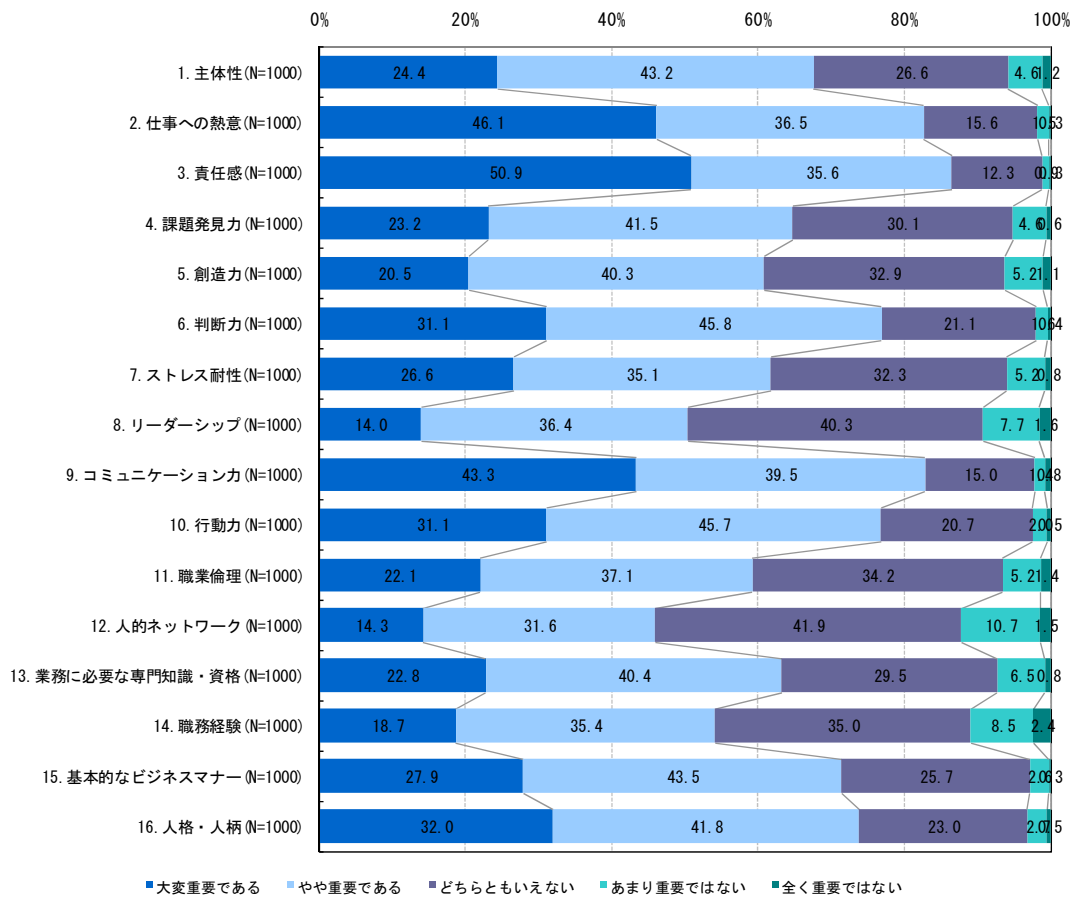
「社会に対する問題意識・価値観」が23.8%、「社会構造に対する理解」が16.9%、「自身の仕事・キャリアに対する意識」が22.5%、「物事に対して真摯に取り組む態度・姿勢」が22.4%、「物事を筋道立てて考えられる思考力」が9.9%、「専門知識・資格等」が16.5%、「（仕事を行うにあたっての）実践経験・ノウハウ」が20.4%、「リーダーシップ」が4%、「コミュニケーション能力」が31.1%、「人的ネットワーク」が9.3%、「自己管理能力」が14.9%、「その他」が0.3%、「得たこと・身についた能力は特にない」が18.6%、となっている。



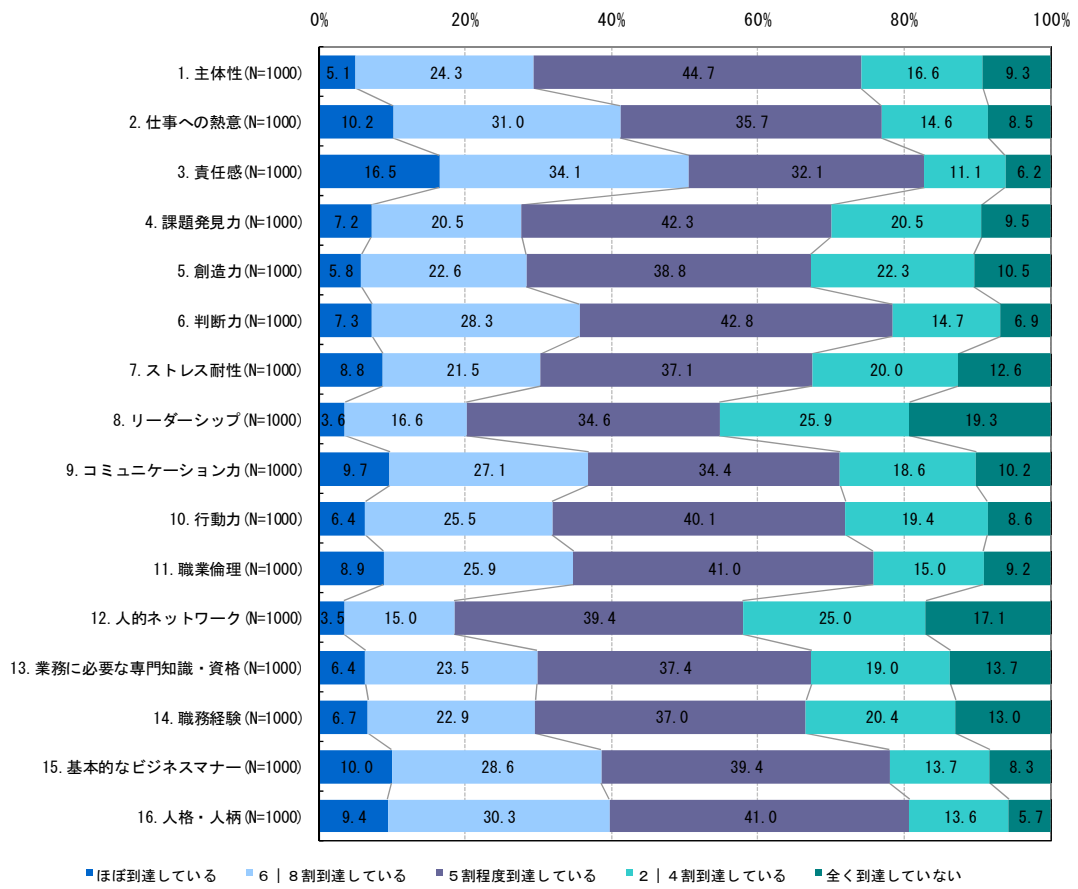
(N=1000)

問8. 正社員を採用する際に、企業側は何を求めているとお考えですか。また、自分は企業が求めているレベルにどれだけ到達できているとお考えですか。ご自身の意見に近いものをお知らせください。(それぞれひとつだけ)【必須】

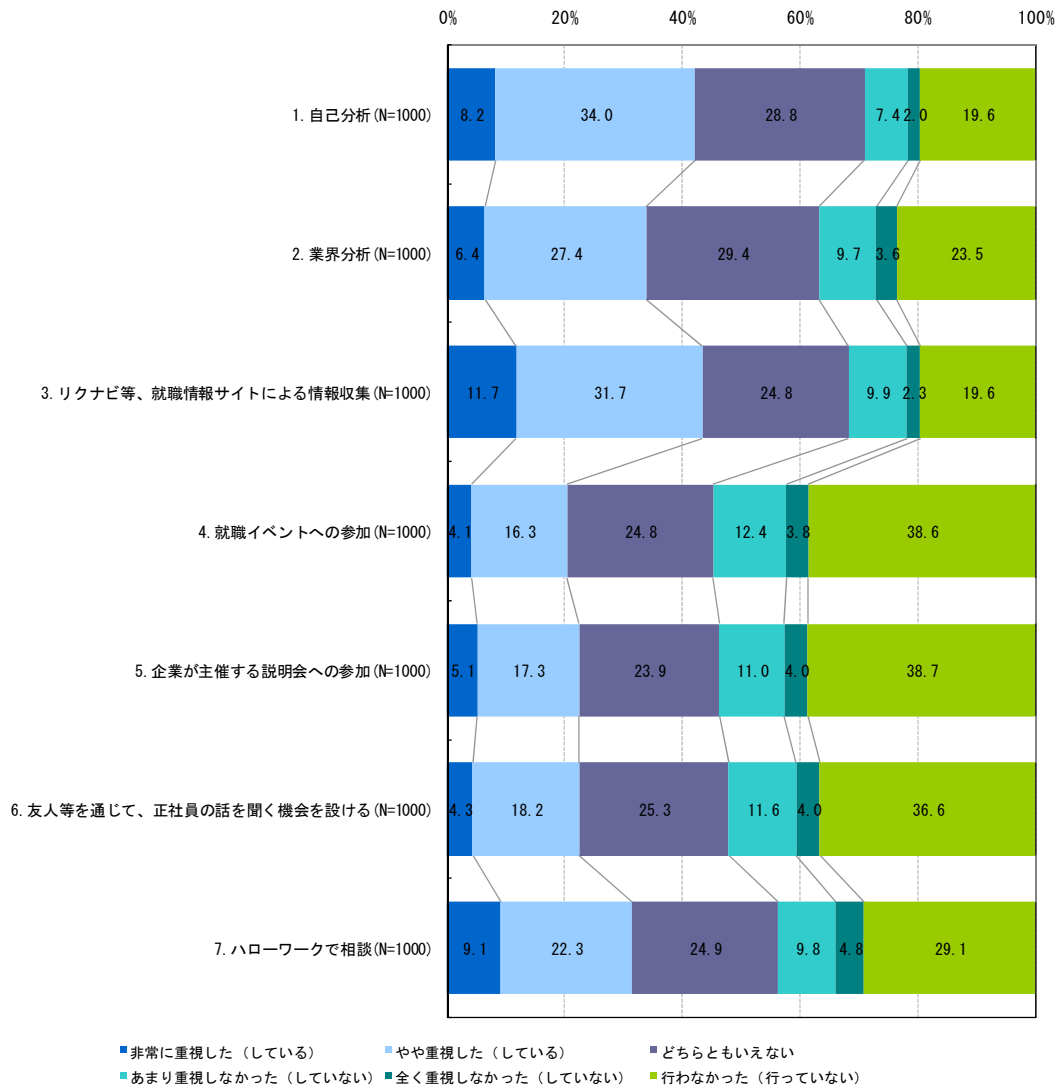
[正社員を採用する際に企業側は何を求めていると考えているか]



【自分は企業が求めているレベルにどれだけ到達できていると考えているか】



問9. あなたはこれまでの就職・転職活動で以下にあげる活動を行いましたか（行っていますか）。行った（行っている）場合は、それらの活動に対するあなたの重視度をお知らせください。（それぞれひとつだけ）

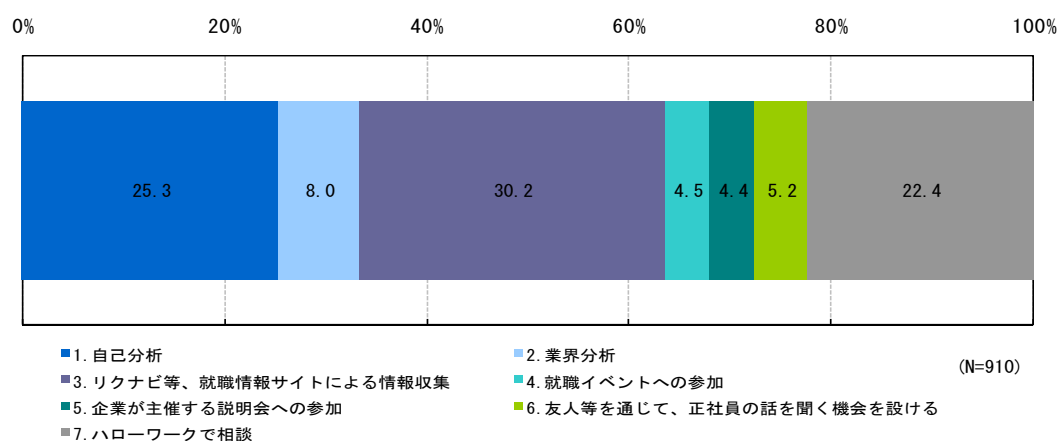




問 9-1.あなたが今までの就職・転職活動で行った（行っている）各活動のうち、最も時間を費やした活動をお知らせください。（ひとつだけ）【必須】

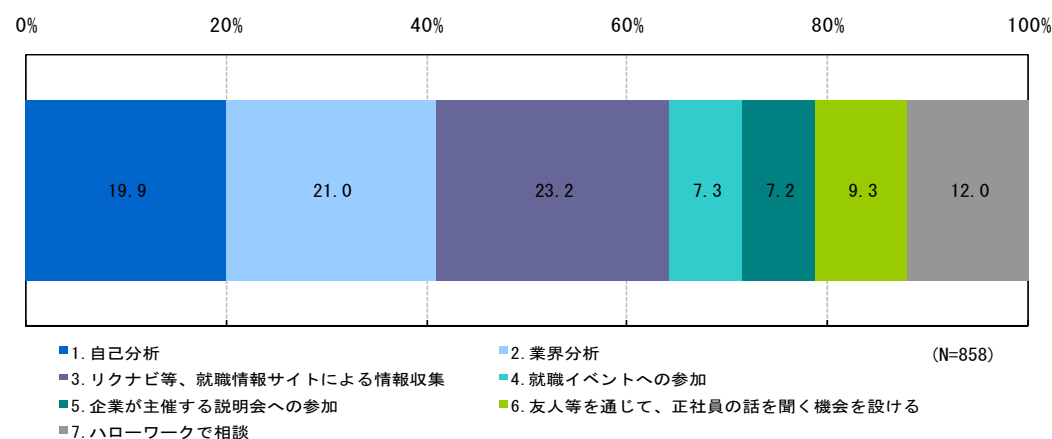
※問 9.で「行っていない」以外を選択したものを表示

「自己分析」が 25.3%、「業界分析」が 8%、「リクナビ等、就職情報サイトによる情報収集」が 30.2%、「就職イベントへの参加」が 4.5%、「企業が主催する説明会への参加」が 4.4%、「友人等を通じて、正社員の話聞く機会を設ける」が 5.2%、「ハローワークで相談」が 22.4%、となっている。



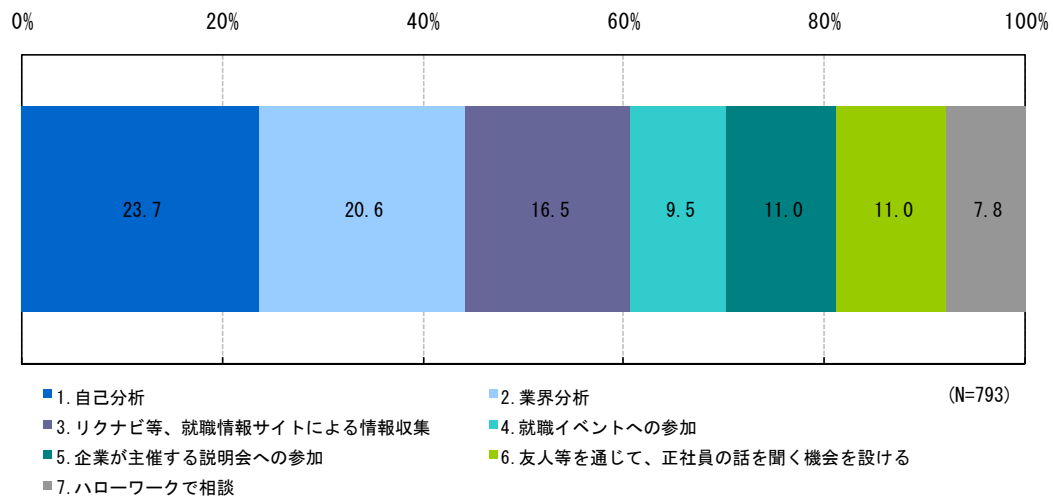
問 9-2.あなたが今までの就職・転職活動で行った（行っている）各活動のうち、2番目に時間を費やした活動をお知らせください。（ひとつだけ）【必須】

「自己分析」が 19.9%、「業界分析」が 21%、「リクナビ等、就職情報サイトによる情報収集」が 23.2%、「就職イベントへの参加」が 7.3%、「企業が主催する説明会への参加」が 7.2%、「友人等を通じて、正社員の話聞く機会を設ける」が 9.3%、「ハローワークで相談」が 12%、となっている。



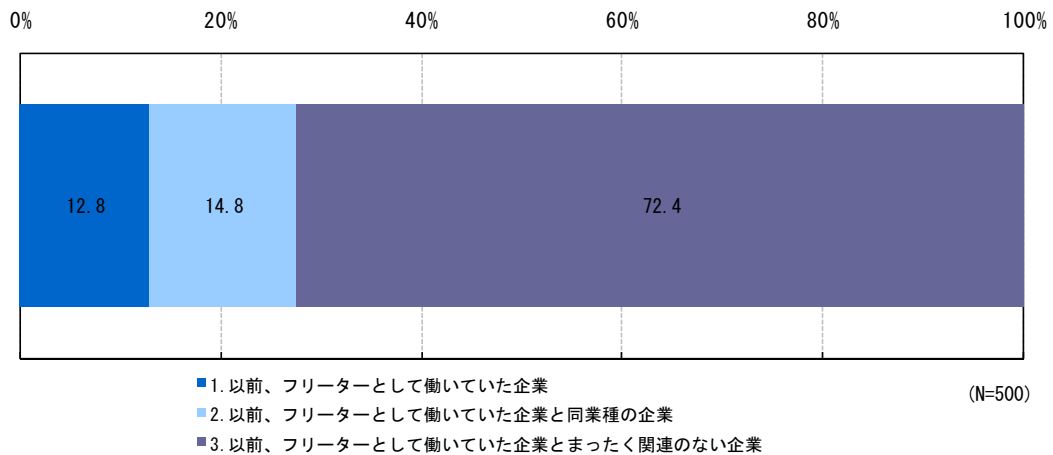
問 9-3.あなたが今までの就職・転職活動で行った（行っている）各活動のうち、3番目に時間を費やした活動をお知らせください。（ひとつだけ）【必須】

「自己分析」が 23.7%、「業界分析」が 20.6%、「リクナビ等、就職情報サイトによる情報収集」が 16.5%、「就職イベントへの参加」が 9.5%、「企業が主催する説明会への参加」が 11%、「友人等を通じて、正社員の話聞く機会を設ける」が 11%、「ハローワークで相談」が 7.8%、となっている。



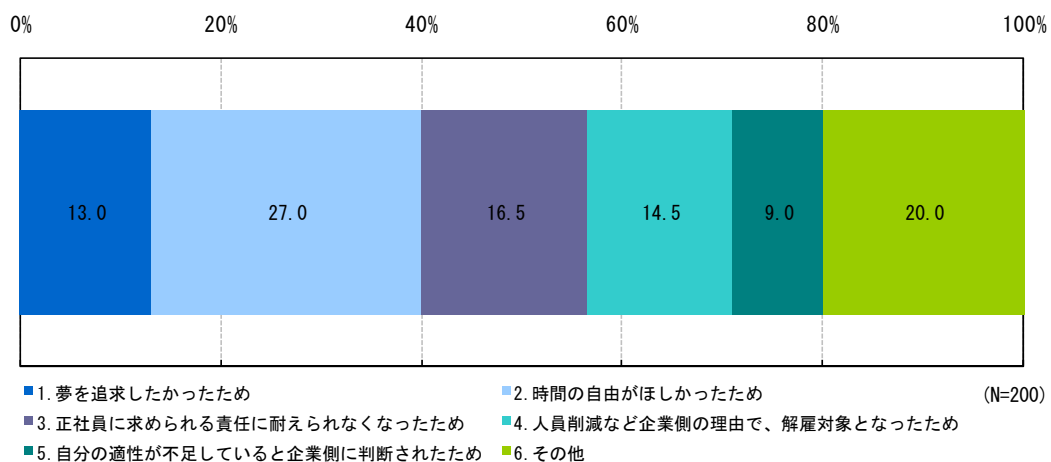
問 10.あなたはどのような企業で正社員として採用されましたか。あてはまるものをお知らせください。(ひとつだけ)【必須】

「以前、フリーターとして働いていた企業」が 12.8%、「以前、フリーターとして働いていた企業と同業種の企業」が 14.8%、「以前、フリーターとして働いていた企業とまったく関連のない企業」が 72.4%、となっている。



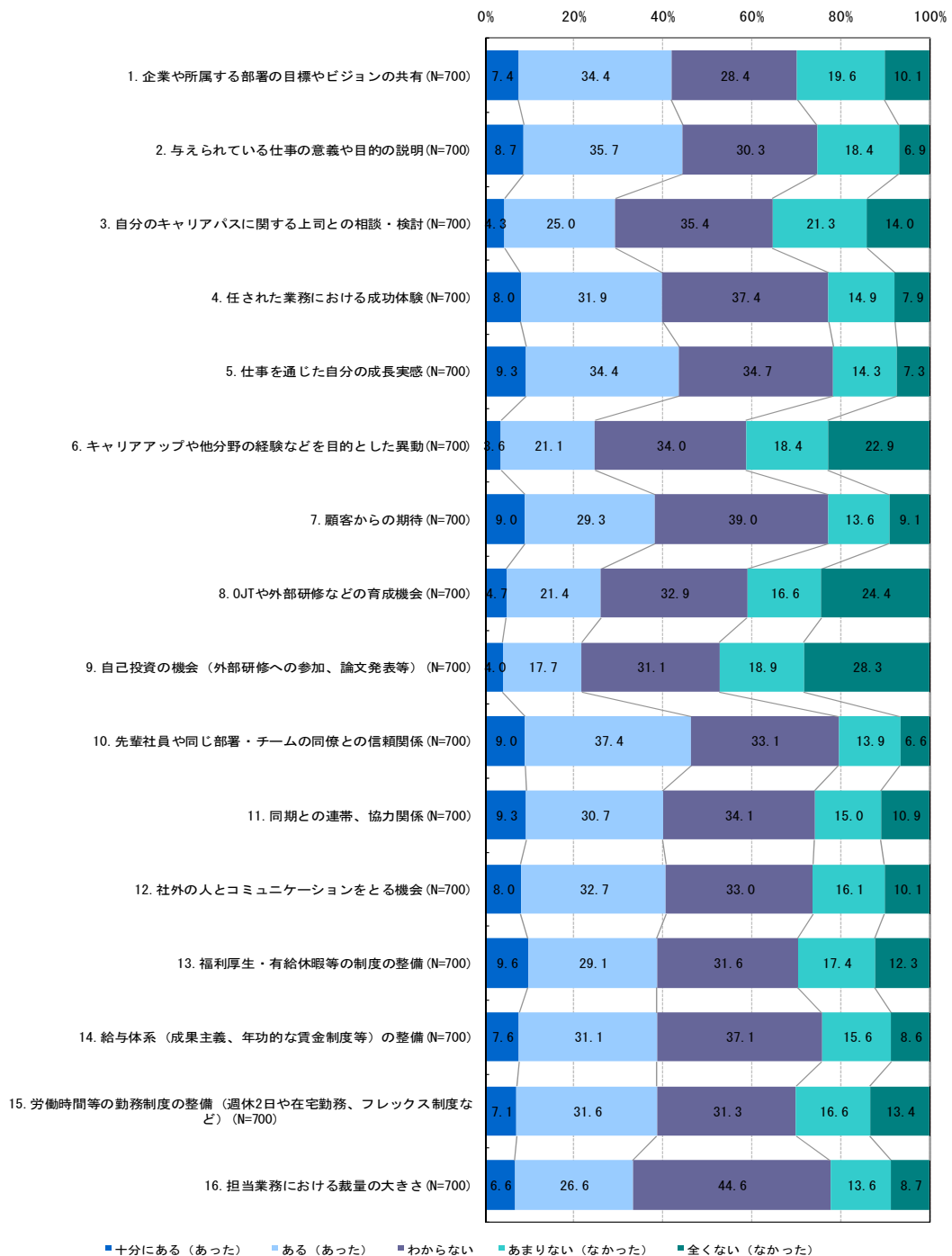
問 11.あなたが正社員を退職し、フリーターとなった理由は何ですか。最もあてはまるものをお知らせください。(ひとつだけ)【必須】

「夢を追求したかったため」が 13%、「時間の自由がほしかったため」が 27%、「正社員に求められる責任に耐えられなくなったため」が 16.5%、「人員削減など企業側の理由で、解雇対象となったため」が 14.5%、「自分の適性が不足していると企業側に判断されたため」が 9%、「その他」が 20%、となっている。

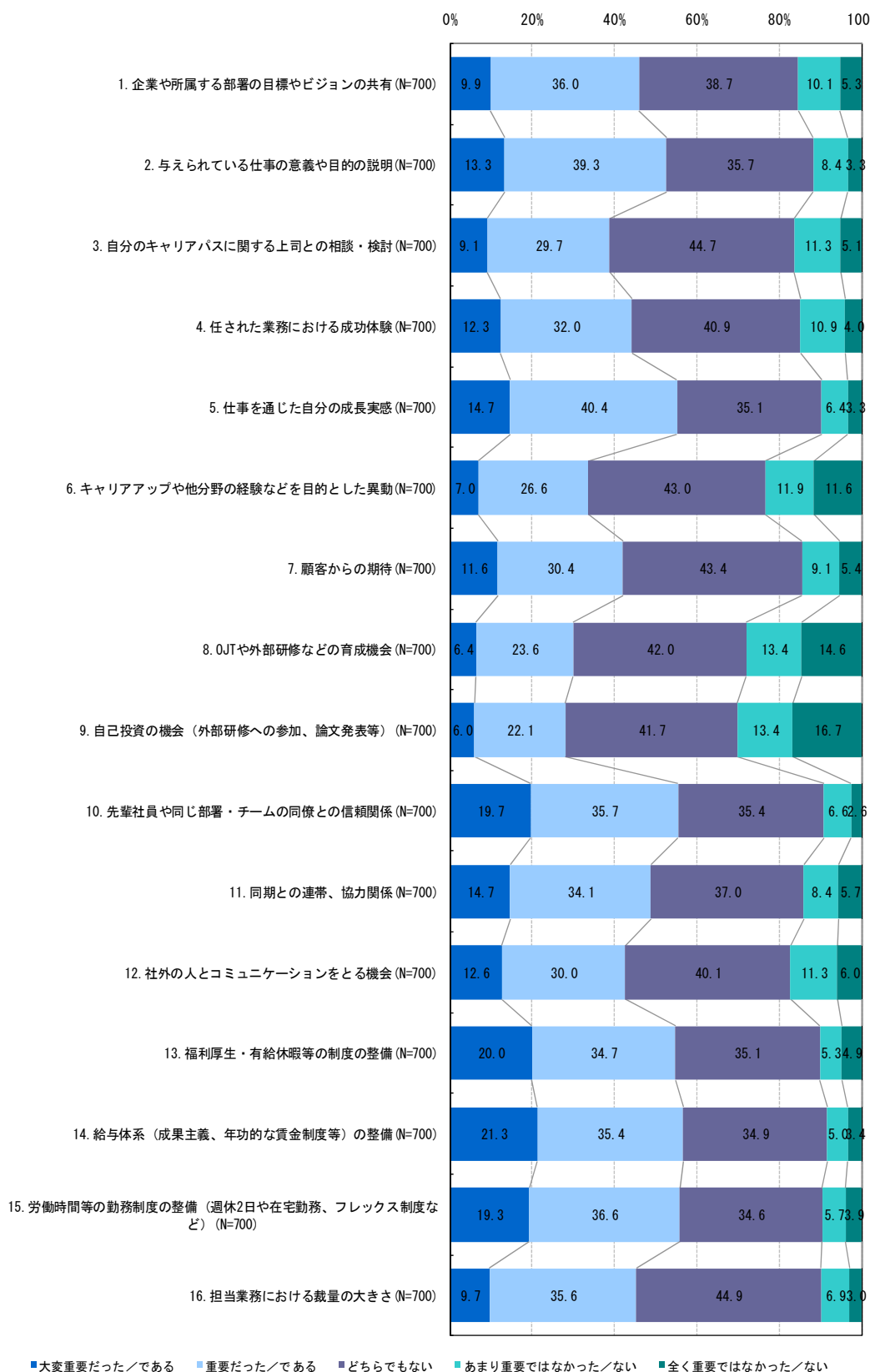


問 12.あなたが正社員として勤めている（勤めていた）企業では、以下にあげる機会がありますか（ありましたか）。またそれらの機会について、あなたはどの程度重要だと感じますか（感じましたか）。あてはまるものをお知らせください。（それぞれひとつだけ）【必須】

【勤めている(いた)企業内での機会の有無】

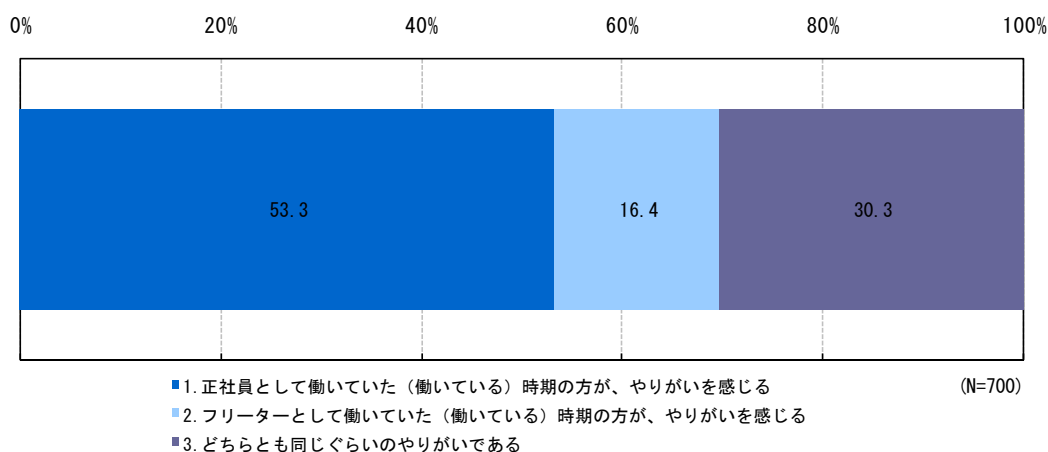


[勤めている(いた)企業内での各機会の重要度]

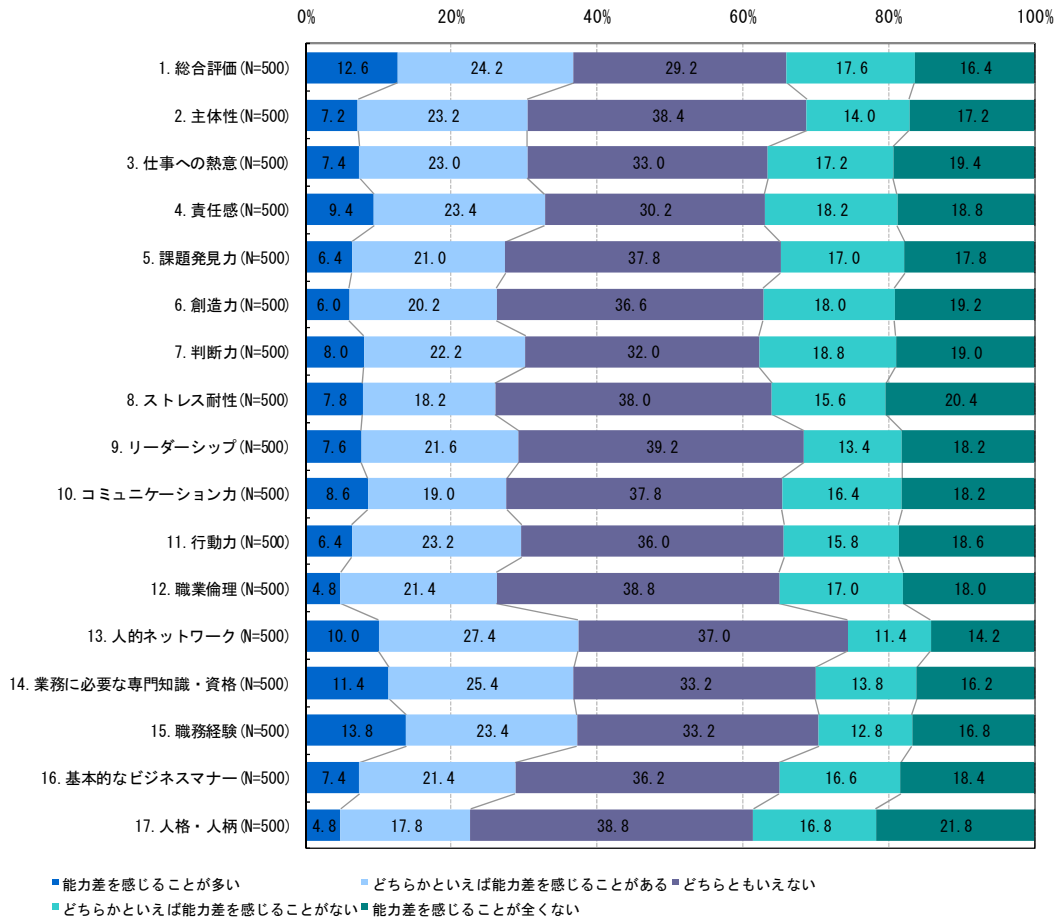


問 13.あなたはフリーターとして働いていた（働いている）時期と、正社員として働いていた（働いている）時期を比べて、どちらに対して仕事のやりがいを感じられますか。あてはまるものをお知らせください。（ひとつだけ）【必須】

「正社員として働いていた（働いている）時期の方が、やりがいを感じる」が 53.3%、「フリーターとして働いていた（働いている）時期の方が、やりがいを感じる」が 16.4%、「どちらとも同じぐらいのやりがいである」が 30.3%、となっている。

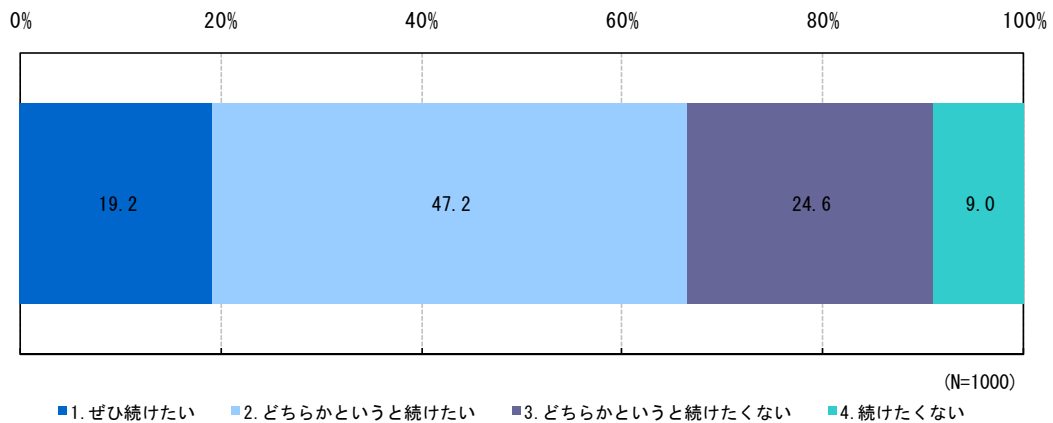


問 14.あなたが正社員として勤めている企業で、新卒時からずっと正社員として勤めている社員と能力差を感じることはありますか。あてはまるものをお知らせください。（それぞれひとつだけ）



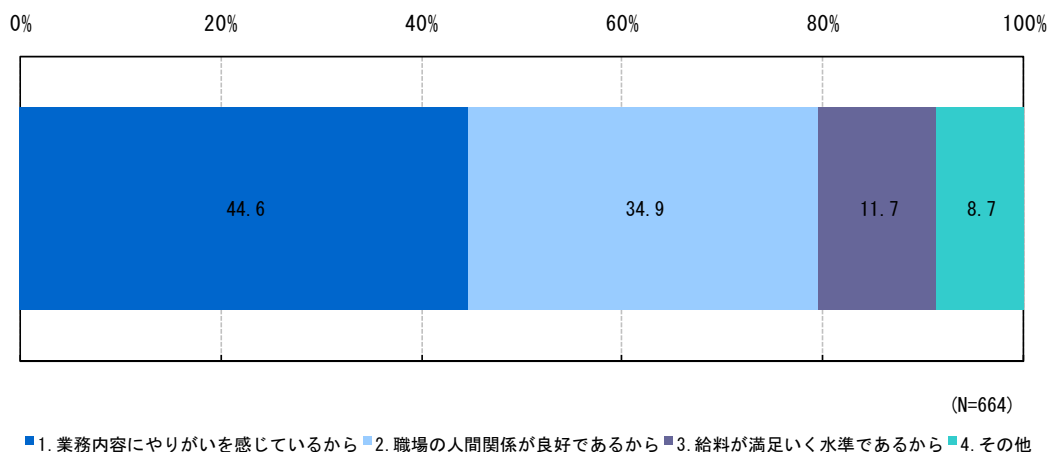
問 15.あなたは現在の仕事を今後も続けたいとお考えですか。あてはまるものをお知らせください。(ひとつだけ)【必須】

「ぜひ続けたい」が 19.2%、「どちらかという続けたい」が 47.2%、「どちらかという続けたくない」が 24.6%、「続けたくない」が 9%、となっている。



問 16.あなたが現在の仕事を続けたい理由は何ですか。あてはまるものをお知らせください。(ひとつだけ)【必須】

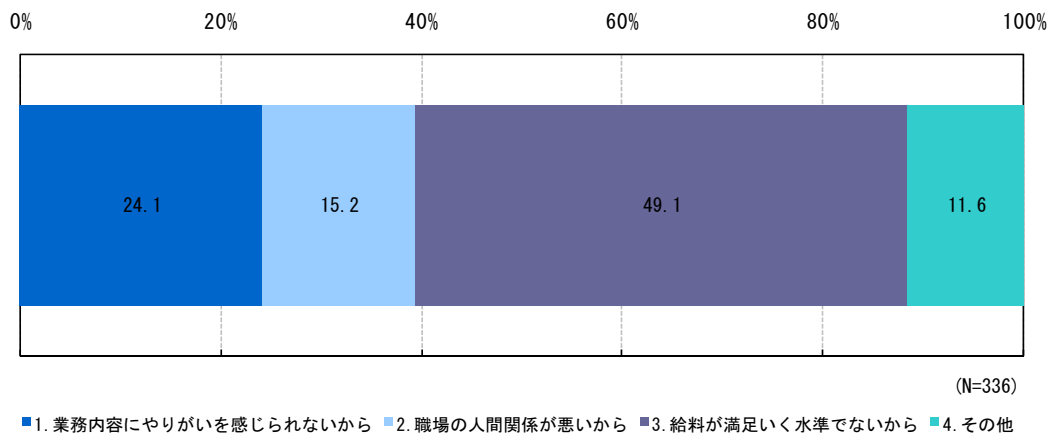
「業務内容にやりがいを感じているから」が 44.6%、「職場の人間関係が良好であるから」が 34.9%、「給料が満足いく水準であるから」が 11.7%、「その他」が 8.7%、となっている。





問 17.あなたが現在の仕事を続けたくない理由は何ですか。あてはまるものをお知らせください。(ひとつだけ)【必須】

「業務内容にやりがいを感じられないから」が 24.1%、「職場の人間関係が悪いから」が 15.2%、「給料が満足いく水準でないから」が 49.1%、「その他」が 11.6%、となっている。



問 18.あなたの最終学歴を教えてください。(ひとつだけ)【必須】

「中学校・高校卒業」が 36.4%、「専門学校卒業」が 16%、「短期大学卒業」が 7.3%、「大学卒業」が 37.2%、「大学院卒業」が 2.5%、「その他」が 0.6%、となっている。

